

昭和十年

富田日記

背革

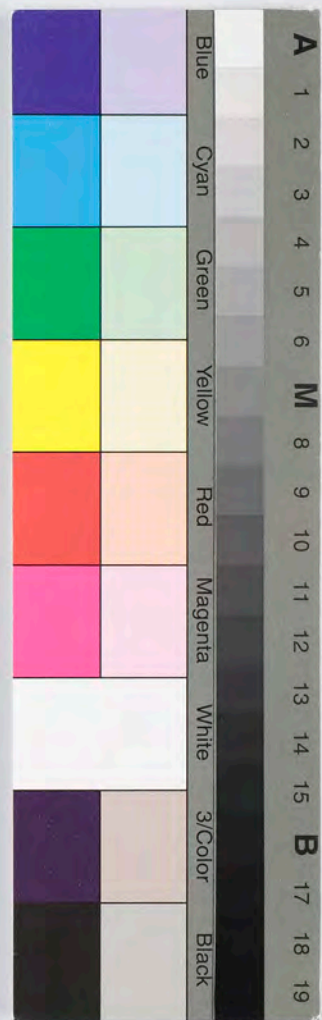
博文館



MADE IN JAPAN

定價金壹圓五拾錢





以下日記頁のみ撮影 (1月1日～12月31日)

晴天

夜中爪強リ吹キ寒気モ強カリキ午右ニ更リテ爪
金ナ強リサレリ
午右時半春美公氣津井墓ヲ参シ武運動
ノ為メ手子ニ出テ箱根道路ニ沿フテ午位ニ到リ新大橋
ヲ渡リテ右新水戸街道ニ出テ綾瀬川ニ沿フテ里田
川ニ出テ堤防ヲ下リテ長余手ノ櫻餅ヲ贈ヒ各賞
ミ高橋ヲ渡リテ稻屋デパートニ入リテ春美大ノ貴
物スリヲ持テ高橋ヨリ本御知南ノ出テ五所前
迄分分年口仕伏サリ
吹雪ニ三宅川百太郎命アリ春美モ霞下リ明夕時
頃面会ノ為訪向サレド
夜分サ午オコテ文芸堂古銀太夫ノ芝居余ハ夜櫻
丸印腹ノ鼓ヲ聴ク

（五化文）予旅第三寺武津波小 （三保建）予卒臨時保北 （三船仙）予旅をり予旅入宅民の寺蹟

晴

昨日外出運動ノ為メ夜分頻頻神氣爽快サレ
南ニ春日ニ神用意ヨリ夕々々朝顔後フトシタ橋合
心気元進ヲ起シ為メ本社員合テ諸事ヲ商議
解セシメタリ自信力ヲ失シ憤懣ノ堪ス
右分時十五分迄及迄未ナ別奈サレ
右山時三宅川百太郎命未訪春美面会ノ下預額下
清代モ未訪セラレタリ春美ヨリ停業ス
本日寒気尤モ強リ雲下土塵ノ下ル
神樂坂本条若史野石殿太郎公未即公署武運堂大
前貴トシテ云百圓ヲ贈リ夜炒アリ

（先給時）予旅を命計征府幕延制 （三船仙）予旅をり予旅入宅民の寺蹟

月二十日 戊甲
日 五

晴
 盛
 盛
 朝十時半起床
 右半時羊車若至未於雨談四時至ル疲方ラ此見
 エ壽美全斯款待ス此間望月至介氏貝入廣島杜
 蛸々箱々舞へ貝舞未リ井上なか々面会客俸ヲサ
 キテ三和ル
 寶貴業教五十五周年記念会ヨリ余ノ役員(副会長)
 タリニ対シ記念トシテ國産クロム漆半時計ヲ贈ラル
 辰夜ノ書面ヲユス
 小池君ニ和氏貝舞ヲ呈テ新年ノ挨拶ヲ来ル面会セス
 そのか身ノやまひたさきまゝ思をいれど毒乃だ
 此ヲ集物ヲ手収ス

11 (九和昭)ち広畫計艦建大の軍海國英 (九正大)立成約條和調戰大界世 (三七八一)す殺世三ンオレボナ

始軍陸

晴 風寒	八月会 六十六會	幹事地用、御来賓 永井松二	吉松茂太郎大田吉興 青山芳雄	七時三十分 三騎 登代将（猪草子）	陰 雲
気分変りナケレバ音無シクハ断絶シリ	糸川みよ子三リ別府三リ帰京ノ電送アリ	于右武野下、丸山、三橋ニ夫人來訪毒美面接			

〔雙六〕都近く来てつゝ、まじや神雙六 魚 鮎

(九和昭)る起事世の倒棋将人切送で難都京 (五治明)ふ行を式民觀でめ始 (二四六一)す死オレリガ 10

晴
 本合前手書会
 全長何々 誠太史
 主前十一時華族会
 南洋裁断会
 和相裁断会
 文部省裁断会

温和ナリ
 午前三時頃系田芳太郎氏来訪病室ニテ面会
 奥村政雄氏来訪見舞ハタリ云州ニリ帰ル
 慶久氏直外女神ナリ夫婦病川ナリ慰問アリ夜介
 返事ナラス
 岩所麻生氏男天未竹西井伯爵令候ト縁族渡リ青木
 来雄氏夫婦帰郷ト依頼セラレタリ
 田口高次郎氏住陳謝書面ナリ

晴
 五五里坊改帳
 表候ニ連ハス

昨夜半ヨリ今晩ニカケ北西ノ風強リ吹リ朝未爪企
 ナミ候頗ル温和ナリ
 午前三時頃系田芳太郎氏来訪病室ニテ面会
 奥村政雄氏来訪見舞ハタリ云州ニリ帰ル
 慶久氏直外女神ナリ夫婦病川ナリ慰問アリ夜介
 返事ナラス
 岩所麻生氏男天未竹西井伯爵令候ト縁族渡リ青木
 来雄氏夫婦帰郷ト依頼セラレタリ
 田口高次郎氏住陳謝書面ナリ

清川今月新

文政審議会十市所
半首相長郎所
主月子校初後宿
内之若(貴葉神替
學校及青年訓練
所(審止)才二面
所

晴曇

朝晴午右雲空ナリ
午後新川より未訪青美面合別行模様ヲ察
取ス
右四時半迄未訪
全国山林会聯合会幹事太保正夫氏退職記念全
集募集件ハ大日本山林会由西活人トシテ募集
タリ函達アリ本人面談ヤリテ断リ尤應募ハ他
版合ニリ未答アリト返事ス
午前ヨリ小林茂吉祥寺ヨリ来リ告レリ食後面会
ナリトシテ輸送ニ乗リテ往ク
熟のなき病乃成リト云フ身ハ融兵みず
我ハガ正
庭々々々松葉に寄リ山茶花の花辨
とむき雪模様ナリ

雨

旧友会紅葉観覧
川上重三郎入会
主催
所

雪模様變テ朝未(未雨)ナリ
夜新橋側日本赤十字會赤十字會
氏村ハ二十青年日本社仲野武夫氏ヨリ全清
ニテ贈リ来リ(一日)ハ松杉状ヲ古ス
國除(面軍社)夜中野金次郎氏ヨリ
夜中ノ論文六冊寄贈ハ松杉状ヲ古ス

吹き流る、雨の粒に冷たさ
いまだ暖けれぬ雪の光る 小田の道

晴 風 寒
午前 十時 起床
高木健吉氏見舞芳女男健一市商事会社合格
後三時 遊藝会 未了
同内 小川文清氏大極公誕生地 説明一冊ヲ持来ス
公時中村吉右衛門 奉子代族抄ニ来ル毒美面梅来
月ハ来入願者、公全ニシリ 大限ニ二筆成清正興行
事トナリ 本月廿六日 歌舞座 打上ノ次弟全地ニ
参リト云フ
白仁武氏ニリ 胡蝶鵜松田ヲ贈ラレ 夜分族抄伏ヲ

今暖服部、五時迄満ル如キ不快ヲ感ス十時就床
今刻中島深因次氏病氣良舞ニ来リ毒美面合
自願、例ヲナシテ 雲氣漸ヲ行フ志候室古海軍後備
大依ノ岩原ヲ面談シテ 辞去ス
会而武時招ニ應ジテ 秘設場、上村金治氏余ヲ呼
金庫ヲ持来ス 未廿三日 押込、必得我者一面分及全廿
五日期日、会合議事会社者一回相込、要スル小知ヲ共
他ニ調印シニ要銀行持来、及至正并、本社勤儉慎
金ニ取次三冊ト共ニ送リ此レ今時余ノ金庫ヲ持テ
歸ラレム
共樂俱樂部ニテ落札、浦上三吉面商柳、台散反
菱形染付、向付丸容ヲ変取ル（押印二十八円、金指輪一
面、教部、リ行キ、一行中、都正三氏ニリ
派演、花魁中、刺著、上右（額七町、市、何持たり、是惣、此
上京、是地、金、持、リ、見、下
惣、是、上、京、受、地、新、撰、主、は、極、心、を、散、せ、た、此

晴 風 寒
午前 十時 起床
高木健吉氏見舞芳女男健一市商事会社合格
後三時 遊藝会 未了
同内 小川文清氏大極公誕生地 説明一冊ヲ持来ス
公時中村吉右衛門 奉子代族抄ニ来ル毒美面梅来
月ハ来入願者、公全ニシリ 大限ニ二筆成清正興行
事トナリ 本月廿六日 歌舞座 打上ノ次弟全地ニ
参リト云フ
白仁武氏ニリ 胡蝶鵜松田ヲ贈ラレ 夜分族抄伏ヲ

今暖服部、五時迄満ル如キ不快ヲ感ス十時就床
今刻中島深因次氏病氣良舞ニ来リ毒美面合
自願、例ヲナシテ 雲氣漸ヲ行フ志候室古海軍後備
大依ノ岩原ヲ面談シテ 辞去ス
会而武時招ニ應ジテ 秘設場、上村金治氏余ヲ呼
金庫ヲ持来ス 未廿三日 押込、必得我者一面分及全廿
五日期日、会合議事会社者一回相込、要スル小知ヲ共
他ニ調印シニ要銀行持来、及至正并、本社勤儉慎
金ニ取次三冊ト共ニ送リ此レ今時余ノ金庫ヲ持テ
歸ラレム
共樂俱樂部ニテ落札、浦上三吉面商柳、台散反
菱形染付、向付丸容ヲ変取ル（押印二十八円、金指輪一
面、教部、リ行キ、一行中、都正三氏ニリ
派演、花魁中、刺著、上右（額七町、市、何持たり、是惣、此
上京、是地、金、持、リ、見、下
惣、是、上、京、受、地、新、撰、主、は、極、心、を、散、せ、た、此

晴

東京学生会受所
新子学生会来会
午後六時 新
日本国学院学生会
午後二時 新

昨夜半就寝今暖直熱一度目醒タリ三時後十時半
迄睡眠近頃如斯快リ眠リタルナシ十一時半朝食
終日不快ノ会ナシ
午後三時由比谷衛大降未七人候方未ル舞美面会
更たけく床よりぬきあつて窓を覗ふ故うハ
独木り者

三日午後三時頃の新田に舞に誘はる
深田君と舞をせしむる事
小阿ノ踊

晴

東京学生会受所
新子学生会来会
午後六時 新
日本国学院学生会
午後二時 新

夜半就床後眠ラレヌ床側ニ置タルゲンリョオコ
ヲ一口飲ミタル後寒ヲ冷エ上リタル飲料ノ為ノ胃弱ミ
微痛ヲ感ヘタルモ暫時ミテ回復シタル朝十時
近ク目醒服薬ニ不快ヲ覚ハタルモサレタル事ナシ
午後一時半朝飯食
午後一時半坂女ノ治療ヲ受リル
午後一時半此間三
角短所々長所々
舞美面会
今三時新田理髪店主ヲ招キ同席三苦二氏見舞ト
シテ来ル舞美應接外天衣四部大唄モ水菓子
准メテ見舞ハタヘタリ
榎木会小見舞（世田谷区大森町一〇九七電話松沢三
七番）より会見アリ目下病床ハ甚良中他日
此サレトシト電話ナリ
夜間下りの柏子木氷る事ナシ

新

下序直取不示前篇云云公病也見序約

中里直格五希館長美面会病気更舞ノシメナリ

西川平三氏義庫洋襖奈三リ附替 表八ノ為合

西仙ヲ傳テ六聖日全地産穀芻於余奉テ贈リ

素化
族の
牛
我
う
如
不

〔炬燵〕 襦から孫が抱きつく炬燵かな 讀 五

山下蓬仙二

ことほがむこの美しき少女たと
われらが上げしきかずきもよし

青井 勇

昨夜安眠十時半寢床

午命一時上村金信武未市九州以毫酥弓相致(通)

印一ト自合キリビト
郵政領収証(三七五四)針葉会

上竹朱采箋覆之。二枚取圓為(杜玄)母名。

壽美立期迷先為視

心辰入巳入午等三壘散一冊子凡不上村舍富貴

六折三折ノ以和言通外一折ニハナシ木竹等ノ
維上素朱百朱ニ付スル最下条ニ度更リ下ヲ持テ

維正其俗有在
不金所但前
事以內以六
事以內以六

不之乎聞金庫之知又其牛性金庫子西廣上

左に附したり
右に附したり

辰光時子始量時辰表帳出ノ池底ヲ言下ノ

上庄貞氏氏伊豆今井成三子孫氏無別系

神戶其陸太都三ノ底気夏四井ノ来信アリ

Downloaded from <http://ajphaphapublications.sagepub.com/> at National Archive Publishing Co on May 12, 2015

[illegible]

朝十時喚起床

婦宅
 来活か及武田夫人、太刀川平次夫人、田原氏夫人、合来活
 〔雪〕 登校する子等一列に雪の原 雨 村

天さなはたてに、
もつれあひたり、
山崎 等

昨夜羊三堂積事五十六寸銀世界に現出ス然ルナリ
 金外（金ナリ）
 十二時十九分社衆は灯小は太明親友貝舞り為メ未訪耨美
 應隆余ハ接見ノメ洋銀應梅室ノ直リ直計ヤクニ處
 ニ心気元進ノエレウ生シタル破川カニテ加養直ニイサマリハ
 七為余会見ヲ断リ耨美ヨリ昨日吳村主未於ノ模様ヲ
 報セシム社衆ハ在来吳村於断ハ器大ノ傾クアリ自個ノ
 俸碌ニシテ余ノ病厄ハ自分余床神延性ノモト信スル語サ
 レタリ
 一時小林氏吉祥寺ヨリ来ル余ハ暫時筆行ヨ見合セタルヲ
 而三日内余ハ六テ今地ニ赴キ移植ノ場々テ兩四セシメリトシ
 公於本川分家計量トシテ金計百圓ヲ充メ
 今三時頃耨美芳町到テ昇舞ス美婦ニ面会昨日吳村主
 於断ノ模様ヲ報告五時頃歸宅
 南近ノ春主ハハニ主ハ智多ハ冬を名残の之客の積事

37 (九和昭)ら下決判に側聞民件事五一・五 (四三治明)と探吉論源程 (元武建)と用通を解説てめ始

晴

子伯補井茶二部
病多見舞うる茶十三
井合名退社ノ報告ス
青美面会

午前七時起床

午食時時吉田、即吉和夫人見舞、未ル青美面会而家新
二科会ヲホメル社参ノ額ヲ杜絶ス
全山時常ノ老婦男未訪直錦呉而士於新ノ相
盡テハハス為メレントゲン部機影ヲ勸メラル
全五時志岐ギ来リ治癒ス
茶林弥一初ミリ飲料用針石吉山ヲ贈ル及島吉
本時未

昨午三月廿三日 皇太子殿下（四）退辰奉祝会ヲ放送
、福世ヲ放送シタル近及久太初前百一歳ハ一昨四日午後
一時半 中野鷺宮堂主ノ自筆ノ後ス
今月前行キング三月号ノ山口市今市松元キ又後ヤシ全午
石山歳ハ視カ食熱床床ナル者ト異ラス生来未タ返若
厄介トナリタルナリ百二十歳迄ハ生延見トハ皆ノ常ナリ

（九和）

（九和） 本館出陣軍に團員發動動員に里巴

（原）
北 癸

晴

明治四十五年十一月
鈴山ノキブスニ推リタ
除世ヲナリタル全所
山屋ニテ茶室正久利
弁弁父ト音御里島
板山郡里松村

三和同ノ徳リトス
三和同ノ徳リトス
三和同ノ徳リトス

昨夕ミリ寒威凛烈寒暖計下ル事今朔氷下二度

午前十時起床
右時時志岐ギ来リ治癒ス
未訪直錦呉而士於新ノ相
盡テハハス為メレントゲン部機影ヲ勸メラル
全五時志岐ギ来リ治癒ス
茶林弥一初ミリ飲料用針石吉山ヲ贈ル及島吉
本時未

昨夜半
消へゝる雪をぬき去りて以て眠る
必すま（全）ノ事や水に玉
雀見補補カノ其洲中田子ノ後みまひてみまひて
添保成る母ノ懐子を入きて乳を食ふ

のの児ハトシ

漢書

日の木のやまとの國のはじまりし
其日を今日と梅咲きにけり
正岡子規

44

已發 總

〔要路〕 要路や技が彫刻みて貴族とし 昌 松

10

（原）本
西 辛

日 四 十 月 二

月 五 日 乙 未

晴

雲 蒸

辰多慶六重輝雄
ト仔茂文吉長可
森子結倫彼吉
小林三女博伯
東京合船在廿半
而人所
日本も合船所代
長船必船食合
工事ラフ白六時
漸

午前十時起床
右零時廿分志坂女治療、夏工
島村赤雄ヨリ正十時預、付、辨、方、モ、異、存ナリ自分
モ再望ミテ捨テ面平氏と相談、上此縁（取性メタ）野
存ナリト半来、右身時平氏夫人来訪、未レ十七日吉日、若
納取交ヤ、取書、天近、報告アリ、正子ノ情ハ未大正料、
心金海成（明治廿五年八月廿日生）目下小金、秘兵、
敵在、中ナリ
全身時、當、相重子、夏、辨、未、夕刻有、友、世、成、村、
為未初底、生、角、新、入、小瓶ヲ、賜、ラ、リ、青、吳、面、合、
其島節子、贈、リ、四、季、候、梅、到、着、能、ク、見、ハ、点、
一杯、飲、タ、リ、ナ、リ、
某地、計、目、ハ、九重、旅、額、滞、在、一、停、東、山、山、女、上、野、美、術、版、開、催、
十周年、迄、全、成、金、女、作、照、和、平、希、使、者、陳、自、分、費、入、梅、花、
瓶、去、年、ハ、借、受、依、頼、リ、度、迄、テ、系、知、五、谷、ス、公、人、来、訪、
除、午、上、座、ト、自、作、熟、香、合、ヲ、贈、ル、
（五谷）本、原、意、地、大、之、原、出、で、し、大、

（九和明）ヲ、房、子、に、新、敷、食、日、士、持、渡、で、島、ブ、ソ、ロ、（八二八一）ヲ、設、前、を、行、親、立、親、成、諸、（三慶天）ヲ、臨、に、門、轉、中、

（原）本
西 辛

日 五 十 月 二

月 五 日 乙 未

晴

雲 蒸

有美、女、家、内、相、田
文、相、外、交、部、中、心、者
ヲ、美、家、家、達、中、
係、介、ノ、カ
星、岡、茶、茶、台、六、時
漸

午前十時過、起床
右三時半日本経済新聞、高島、女、御、女、代理、ト
、テ、有、美、福、井、女、三、升、返、職、付、宛、方、身、南、催、
其、御、祭、人、々、ト、打、合、セ、未、レ、賛、成、
宜、我、頼、置、一、公、時、大、川、子、三、即、代、快、氣、祝、
同、祝、是、贈、品、加、入、方、敷、置、
右、四、時、才、竹、巻、好、男、貝、井、見、上、退、職、
件、ヲ、依、頼、ス、
貝、井、氏、
事、田、氏、夫、人、木、川、未、亡、人、及、筆、女、夫、人、上、后
山、中、三、五、即、代、ヨリ、榮、隆、毎、人、ヲ、付、ス、ル、不、満、
入、直、上、書、面、ヲ、以、テ、仲、介、ヲ、断、リ、今、時、
圓、ヲ、贈、リ、今、後、来、訪、ヲ、断、ル、

（九和明）も、私、題、可、能、編、の、田、文、山、嶋、（九水寛）ヲ、行、興、を、展、望、伏、願、以、に、故、大、展、出、田、竹、（九水寛）誤、入、同、後、寫、

日 五 日 乙 未
五 六 時 四 分
月 五 日 乙 未
五 六 時 四 分

晴

計七部五十五

田に落ちる稲穂の水の音

朝九時半起床
 右三時社長来所、小太男来訪、昨日夕方、小太男来宅、連席
 し、自介、退職、手多速、可取、厚、向う告げ、後、手、小余
 、意見、う微、セ、自介、ト、ハ、社長、此、際、ト、ナ、リ、上
 半、陳、フ、手、ヤ、レ、ト、告、ゲ、社、長、ノ、内、容、ヲ、タ、リ、社、長、ハ、何
 川、井、三、橋、ヲ、会、長、ト、大、内、ハ、依、然、電、機、ノ、音、ヲ、残、レ、羽、野
 カ、板、著、手、ヲ、本、社、理、手、ト、レ、カ、後、ヲ、午、午、使、ヒ、其、機、更
 ラ、体、フル、ヲ、得、付、セ、メ、タ、レ、ト、幸、也、金、貨、之、レ、四、金、ハ、置、リ、バ
 モ、逆、健、ナ、リ、ト、思、ハ、ナ、リ、余、ハ、代、金、分、社、長、並、合、議、決、ノ、名、ヲ
 存、セ、ラ、レ、タ、レ、ト、公、衆、望、ア、リ、未、知、何、返、答、ス、二、西、日、内、ハ、三、至、テ
 、余、穀、ノ、重、シ、現、役、ヲ、返、リ、手、ヲ、得、可、シ
 貝、舞、舞、答、案、業、自、本、社、取、締、段、大、江、テ、亥、内、氏、地、産、太、印
 々、便、ハ、井、上、祥、子、(丹、美、西、隣、)外、ハ、志、村、新、天、師、

晴

晴

午前十時半起床
 午前七時半三、六、三、氏来所、針、世、来、会、社、ノ、近、況、ヲ、陳、リ
 全、心、時、三、好、重、備、氏、兼、訪、社、長、来、所、後、昨、夕、本、社、ハ
 五、二、音、リ、余、退、職、件、堀、田、永、原、三、氏、ハ、話、ヲ、タ、リ、ハ、ノ
 「ミ、甘、余、ノ、役、主、明、ク、成、リ、件、三、好、氏、ハ、午、前、ヲ、衣、頼、ス
 上、法、貞、氏、氏、本、日、午、前、ヲ、返、回、ト、査、ハ、金、知、ヨ、リ、ゴ、リ
 新、穀、ノ、生、立、ヲ、取、寄、セ、應、々、余、宅、燕、ラ、レ、タ、リ、既、餐、食
 之、シ、ラ、當、保、ス
 右七時半十分、郡、新、夕、催、日、比、答、公、会、並、於、此、九、代、目
 景、五、郎、持、夜、庭、草、濱、藝、及、岡、山、西、大、寺、禪、奈、リ、
 放、送、ヲ、聴、取、ス
 西大寺 禪奈里のゆきやうーぞうとるゆー
 録波の音ノヤウー
 貝、舞、舞、河、牛、捨、二、人、不、い、テ、

晴
九時半起床昨夜不眠
右一時前迄未眠
全三時半に業便衆部聴桂三助公未訪面会
本日宿内各番美面会分
三指信三(軍部北井、除妙面会)攻本正后、青木栄健、
原田芳太郎、三指夫人、田村秀海、三井川保一
錦口三三郎、松村竜太郎、松田貞次郎、君塚勝成、
夕刻興大政十人迄未訪
朝鮮系戦時其後其友知半頃一或公三病身見体
午後未眠直、直書ヲ得メ進況中々
村野夫衆半校改立基金以因理幸川西清共信、
英一両分り十八日付々以テ評決員再ニ應植選就仕
万ニ未決ヲ未メ来リタル片葉迄旨面答ス

晴
三友会社休理年
退任啓文
梅月梅月八日の
役和し
直前迄未眠昨夜不眠
病身未眠未眠未眠
梅月梅月八日の
役和し
全四時半起床昨夜不眠
右一時前迄未眠
全三時半に業便衆部聴桂三助公未訪面会
本日宿内各番美面会分
三指信三(軍部北井、除妙面会)攻本正后、青木栄健、
原田芳太郎、三指夫人、田村秀海、三井川保一
錦口三三郎、松村竜太郎、松田貞次郎、君塚勝成、
夕刻興大政十人迄未訪
朝鮮系戦時其後其友知半頃一或公三病身見体
午後未眠直、直書ヲ得メ進況中々
村野夫衆半校改立基金以因理幸川西清共信、
英一両分り十八日付々以テ評決員再ニ應植選就仕
万ニ未決ヲ未メ来リタル片葉迄旨面答ス

日午注群 秋竹商會 招待茶会 新

晴

大井会 新美集

鈴本 七方久 儀

新

夜廿日会 九島 義

春幸 濱田 三男

川田 明治

新

大井校 校組 盟主 佐

前副 末 守 司 今 吉 茂

村 心 敬 興 会

九島 義 行 会 新

（原）
卯丁

新

午前十時 起床

台老時 忘 城 未 来

香美 茅 竹、村 岡 介、鳥 居 政 及 福 井 氏 郊、床 妙、四

瀬下 清 氏 校 妙、来 り 寄 美 面 会

退 職、麻 呂 未 殆

小川 手 吉、前 報 社 長 村 田 省 藏、木 村 林 次 郎

明 智 齋 朗（大 阪 会 館 主 席）

鳥 居 政 米 崎 郊、コリ 矢 代 大 人 廿 三 日（三 軒 一 軒）七 回 迄

法 要、六 本 四 丁

（原）
卯丁

新

晴

万 葉 集 藤 満 合 宿 五 所

草 津 合 宿

中 津 合 宿 作 家 公 使

上 八 郎 末 氏 未 朝、甘

紹 介、乃 案 也

高 屋 不 十 五 午

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

新

（原）
辰 戌

新

晴	威 風
午前十時起床	北多摩郡大森村八幡 山金藏山来り寺 余主即士時半 断
午前九時起床	松田文相松伴官邸 右斗時 孔朝模範館 大会件 断
午前八時起床	夏舞多 伴落葉一山岸夢之助 及三岩(二氏) 三岩(一氏)感傷的仁ナリ余が三岩退職自置古 追懐大産ヲアゲテ啼ギ出セリ 壽美ヨリダク伴成 モ亦自家ノ経歴ヲ述ベ余が三十七年ノ若人ヲ小使 リリ校權ニシテ思美ニ付深リ感謝 壽美表シテリ リト思フ 寒マレバ退職スルヲ得ルハ幸口余は合セテ 銀行常務丸山榮作氏ヨリ 台湾島駐在バイヤニテ 贈リ来ル

小野田潔、野呂頼太郎

日記の全

【備考】一機の古や置の古の古 多 重

晴	威 風
午前十時起床	清河海軍中尉 警上二時三時 昨内通達付主
午前九時起床	五月末執海軍中尉 雄造(通達)ノ堂葬本日午後二時ヨリ 青山斎 場行ハルハ一代ノ文豪痛惜ノ至リナリ
午前八時起床	清河海軍中尉 寛ル告別式ハ久松氏ヲ代理会葬セシム 五月廿七日朔、眩暈以来時、頭ノ重キヲ感ス 壽美ハ 配ニテ依成常人ナリセテ招リ右五時ハ未ル輕微ノ眩 分ス血ナルナリハ配、モリニラスト云フ 血ノ百六十全量 九ナ
午前七時起床	見舞年客 寿木栄造、江口定条夫人、今村鈴子(東京 未亡人)池田重吾(東京)三浦 未答(東京)事 塩田泰介(三浦)自家大坂農園ノイチゴを箱ヲ贈 来ル

【備考】一機の古や置の古の古 多 重

願社防限合事会年十(町)新

外、終身年金を以て、社長、会費、年費、年金、万国、下附、主として

此日、午後一時、入浴、

晴曇

十時起床

重吉

右の時、午後一時、入浴、

三隻返身

右の時、午後一時、入浴、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

願社防限合事会年十(町)新

外、終身年金を以て、社長、会費、年費、年金、万国、下附、主として

此日、午後一時、入浴、

晴曇

十時起床

重吉

右の時、午後一時、入浴、

三隻返身

右の時、午後一時、入浴、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、

三隻返身

社務、戦後、一、節、至、誠、克、

三隻返身

明治三十二年、秋、社入り、




晴

昭 卷

午前九時起床午後三時神氣略々爽快トナリ夕方テ庭内ヲ散歩ス

庭内子散歩ス

后一時志收戈其工

舞弄退職抄并類稿四節山室示文

木下有夫人、久索請示

田段（部式ヨリ牛込）丁辰
竊、檢抄中來ル

望月主介氏より子一子に壹箱す爲う

夜十時灌腸快通アリ

節石所田理髮店主ヲ拒キ不發

三 月 七 日 乙 亥 二 月

株式會社

久びさに園にいでゆき春めける
光をふしく覆れて歸る
水上牧子

(二和昭)震増波丹北(八三治明)歌會大天奉(三一長慶)る生樹銀江中(二尊武天)宇歌を金白りよ馬對てめ始 70

卷之四

100

寒 暖

命と細引は長いほどよい 和 訪

八日金口復晴

鈴奉撫丹中島

白也來賓志同爲大使

新

米國杜東注濟秋象圖

四月五日奉朝衣如禮

外相直印信

4

午前九時半起床日ハワラカニシテ温
 飲リ快便アリ、青美早朝ヨリ米鴨、
 魚、節、澤井、荻、茶、
 右の時半合志順成来ル
 来訪客 青木榮雄夫人

午後五時半 秘書役場、本

乙未辰退稿々係ハ清書

社內重役陳文貴等八人

父得符我女盡取四人以爲三妻葬在面山金身泉

金華子三
此道忘心
可打鏡女

芳汀夫人ヨリ貝作、（宛ヤリ）

71 (九和昭) く製政個1分御大の東關 (九〇七一) す殺パーリ者見發得道戻 (二寶大) む定を衡量度

曇

風 寒

午前十時起床

右の時半強し便通え試ニトシテ心気不佳アリ

全半五令老成金見上

全半時近夜未分

貝舞客 三好軍衛夫人、ハナ花持来、久余清子、

夜九時前再び大便ヲ試メテ量ノ量キ便通アリタルモ再

應面時起リ平財ス十時平常ノ夜ス

夜半ヨリ西瓜炭リ吹キを盛傾、宮マリ室而六十中、

上ル

服をとりて横臥の事、夫れ九時ヨリあり
石川 櫻 木

日 十 月 三

風 寒

曇

風 寒

朝未ダ而曇トナリ、瓜止、午前八時起床、研主快然

午後屋外ヲ散歩ス

新入横尾帯カガミリ返職、対る族移、状来ル

貝井客 榎田治行

春八の依やむ切化目、右一陸

今日、金剛ヨリ、冬得高、同ヘウ為ス

陸軍記念日

陸下待行社待草

風 寒

曇

風 寒

朝未ダ而曇トナリ、瓜止、午前八時起床、研主快然

日曜

富士職班工業創立
休会 寺任休ム

辰戌

辰戌

昨夜爪欠リ朝ニ到リテ六時起床更衣、陰レハ氣
元直ヲ復ス為メ本日ハ病室ノ外ニ出ス

右一昨未岐ノ見ム

右三時不覺ニ物ニ付金持、兩公未即表ハハ病室役
場ノ外ニ出テ、職換抄状印創見本ヲ携ヘ、村氏
ハ必得金持調成、為メ拒キタル者ナリ上村氏ハ其市
ノ恥倫預金、銀行者ニ在、金持ニ通帳ヘ入テ代シ
今時ニ相續テ村氏ノ島村秀雄ヘ送金、其内惣
村氏共、同女、鷺野金十圓ノ送金キテ、調成ヲ依
賴シ、必女得救ヲ四回分（三廿二）納付、為金五ヶ百
金圓ノ小知ナリ持ス

本日見付各、笑村利之、吾田友治夫人（是齋ノ孫也）
春英夜介、新美介、外キ美八十五人ノ病故ヲ其母ノ
貝島六太郎、午後七時病死、而嗣子宗四郎氏ニリ未世ア

正下の隅より見たる田舎の光景
おけらふ立止ゝあたれかきも
佐野 敬

辰戌

晴

日伯中央会送別会
前伯経済使節団送
平生金三郎二行
東員会館在六町
新

辰戌

昨夜ニ夜半迄爪アリ今朝天候、雲シ午前九時更衣
陰レ、復ハ夜ニ在、微アリ、夜臥道、治ス

右一時半上村金治氏通帳三冊、新株保後預託、
必得金持（即チ其ノ）并、島村曾根ヘ、送金、牛乳斗
枚ヲ持テ、通帳并、保後預託、金庫（半粒）ニ、面シ
之レ上村氏ニ、代ス

今時本城ノ見ム、斗時ニリ治療ヲ受リ

神ノ宮振忠、衛氏ノ病氣、其舞ハシテ前記ノ十圓、
金、斗時ニ、送ス、或ハ主メ、左外、感テ、今、病状

全消、堪ヘ、ヤリ、ナリ、何テ之レヲ、賤リ、ナリ、感、焉ス

貝井谷、松岡、均平、高木、健吉夫人、而田、裕

夜、合、小、林、氏、立、祥、年、ニリ、結、川、全、坊、候、ト、云、来、ル
都、多、所、失、儀、ナ、不、君、ニリ、使、ヲ、以、テ、見、舞、ト、シ、テ、小、金、貳、五
錢、ヲ、贈、ス

今朝貝島宗四郎氏、不意、病ヲ發シ、今時供物、一、奉、藏、氏
未主人、場、合、合、様、井上、達、五、郎、氏、ノ、依、賴、ス

晴

寒 暖

大東文化學院卒業
午前十時半 断

午前十時半

新

昭初年文大得年
意書曰平也

卷之五

池田、便校山歌
(三折合卷)

三升八分

午前於時起床

后一時五十分志岐父見之

右四時遠近玉素

失是、不業俱棄、即三津中村之督、武藏州、皇
帝來朝、降、日、不、立、濟、縣、盟、下、其、同、子、矣、初、奉、皇
帝、銀、兩、前、獻、上、件、打、合、ヤ、メ、來、訪、

并銀

射箭
車上件
打合
又來
下防

具舞并族抄卷
矢野恒太、須田勉、村重天

系系道、淋下夫人

發久保子のかゝり成漢中學入學依頼の来方

職、使ヲ以テ疾移、未レ余ハ久桎或レ使トシテ病院

今生疾之真舞人現

久矣三曰元多矣不和不和重不和食三則

川平三(南洋學)△三リ一(學)一箱ヲ興テ

四書校勘卷之四
陳和十年及父得中書書于書堂下對飲之

人思ひ居れば聲のなく 伊藤左千

人思ひ居れば聲のなく 伊藤左千衛

伊藤左千衛

晴

張 氏

昨夜三時キタ食ミイサゴヲ食シタルヲメテヤ珍ウリ腹
痛ヲ感ス聖敷廟ニ臨ミタルモ便通ナシ

平旦到十時刻二床、**除**し役サリ心去、下進ヲ進具ス

一時令老成出夏人。

斗時 平介 則之 名 亦 便 通 十 依 于 蓬 勝 不

二時平中介快便アリ

見其子重榮少者

不怨天尤人

文選出集義卷八今有先登下里色下注

興

金瓶文太

小材茂草，中材松柏，大材區去，件草爲末。

〔書名〕

晴

風 雲

秋田山川果樹年表
栗田台一付 所

午前十時起床

午前九時辰崎山治療、見

齊美全三時手より、秋田、島田坂、新田、

各都、田舎ス

全四時半、栗田政雄、未宿病室、今見

在、海軍、田舎、秋田、函書、ウ、ス

而、日見、金、送、甘、秋、等、振、度、兵、大、婦、三、り、成、

謝、内、手、未、ル

貝舞、音、返、職、族、抄、春、城、越、丘、二、郎、一、池、田、美、三、郎、

山下、美、村、上、伴、雄、春、名、教、養、田、奈、良、夜、

田、中、金、之、祐、女、三、り、貝、舞、ト、レ、神、ナ、ナ、イ、イ、ナ、洋、菜、ナ、リ、

島、田、坂、知、三、り、使、ヲ、以、テ、秋、全、村、田、巻、及、ヲ、其、其、セ、ル、無、聊、

ヲ、玉、大、ル、ガ、為、メ、ナ、リ

〔書名〕

晴

風 雲

日本国降伏会談会
午前九時 所

午前九時半起床

全口時半、刺、時、ニ、テ、心、笑、ハ、進、ウ、成、ス

午前七時、秋、山、治、療、後、座、落、丁、用、井、テ、使、通、ヲ、ウ、ヤ、ガ、ン、好、

采、ヲ、得、タ、リ

午前六時半、井、政、菜、堀、三、り、見、舞、舞、来、ル、泊、返、礼、ト、レ、

金、百、圓、ヲ、贈、リ

久、奈、清、子、未、訪、昨、夜、純、リ、美、代、子、ヒ、ス、再、答、ヤ、リ、

夜、六、リ、テ、バ、而、ア、リ

日出
五時四十分
月出
四時三十分
日没
七時三十分

晴

風 雲

〔書名〕

〔書名〕

〔書名〕

〔書名〕

高麗
雲雨
日
五時
六時
七時
八時
九時
十時
十一時
十二時
十三時
十四時
十五時
十六時
十七時
十八時
十九時
二十時
二十一時
二十二時
二十三時
二十四時
二十五時
二十六時
二十七時
二十八時
二十九時
三十時

本日ノ春本皇聖条ハ而雪ノカメ無レトナリナリ
九時半起床
合事台々一昨ハ堅氷ヲ用ナリ便通而雪ノカメ益度
五十分下ル一昨日ト水ニ二十分ノ激変ナリ就床シテ
用ヤス
右時時春美ハ受城ニナリナリハ福井ナリナリナリモ
五時半起床
赤坂幸作ノ母見ユ

高麗の雲

高麗の雲

高麗の雲

高麗の雲

高麗
雲雨
日
五時
六時
七時
八時
九時
十時
十一時
十二時
十三時
十四時
十五時
十六時
十七時
十八時
十九時
二十時
二十一時
二十二時
二十三時
二十四時
二十五時
二十六時
二十七時
二十八時
二十九時
三十時

昨夜徹宵雪降ル今既積ミナリ五寸寒暖計五
十分下ル一昨日ト水ニ二十分ノ相違ナリ右時頃
余リ晴天下ル九時半起床
右代ナリ午前十時頃ハ鳥岸ノ買物ニ赴キ夫レヨリ合々
合々一昨夕福井ニ立寄リ十時頃帰ル
十時半頃至る便通
全七時半頃至る便通見ユ
新井ノ片岡ナリナリナリナリナリナリナリナリナリナリ
別邸至る便通見ユナリナリナリナリナリナリナリナリナリ

時	刻	分	秒
晴	曇	雨	雪
今朝起る早し。水氷消れ夕刻に五十八分。昨日より雨寒し。 午前十時。雲天。一時在葉ヲ用テ一通。 午後一時。雲天。未だ。 午後二時。今朝より青山。サツダイと冬キタ。午後三時。福井。人。件。未。劇。見。物。去。り。 午後七時。十分。若岐。女。見。ス。 未。前。春。八。牛。一。駄。元。夫。服。部。兵。不。印。 夫。村。利。雄。 帝。利。觀。覽。方。二。不。二。枚。ラ。近。度。ヤ。有。自。路。ル。			

この日通書等々みたる高田。大身家では日毎に増くる。岡山純美

時分

(四時) 古きや。師長御ゆる鬼瓦 星 嶋

時	刻	分	秒
晴	曇	雨	雪
今朝起る早し。水氷消れ夕刻に五十八分。昨日より雨寒し。 午前十時。雲天。一時在葉ヲ用テ一通。 午後一時。雲天。未だ。 午後二時。今朝より青山。サツダイと冬キタ。午後三時。福井。人。件。未。劇。見。物。去。り。 午後七時。十分。若岐。女。見。ス。 未。前。春。八。牛。一。駄。元。夫。服。部。兵。不。印。 夫。村。利。雄。 帝。利。觀。覽。方。二。不。二。枚。ラ。近。度。ヤ。有。自。路。ル。			

（原）
子 辰

昨夜予ミリ、薩州今朝而止、晴天トナリ、列ノ風依
然ハ、凍土、五ノメートル、及、バク、利、ミ、至リ、テ、企、ク
予、前、大、時、起、床、今、日、昨、半、坐、葉、後、通
予、后、大、時、上、村、金、志、大、本、月、新、米、料、持、来、全、時、携、帶
シ、タル、分、業、会、社、三、月、末、迄、リ、給、料、三、百、円、販、行、当、座、振
込、テ、依、頼、ス、今、台、会、社、并、分、系、会、社、ヨリ、支、リ、ル、給、料、キ、此
貴、其、ハ、全、部、身、在、振、込、テ、依、頼、ス
見、舞、姿、止、村、村、道、（青、美、和、会）
毛、塚、瑞、太、大、未、訪、近、日、齒、疾、為、信、少、其、リ、ト、云、フ、通、販
而、支、入、市、并、福、ノ、礼、ト、シ、テ、百、円、ヲ、共、フ
晋、市、一、上、虎、一、新、宗、一、新、職、ノ、ロ、ア、リ、ト、テ、族、校、来、ル、錢
別、ト、シ、テ、青、美、ミ、リ、外、取、内、ヲ、共、フ、然、レ、本、人、ハ、面、会、ヤ、サ、ル
台、七、時、半、志、坂、女、見、ス、

（三）治明、予、點、を、電、で、て、始、（二）治明、予、點、を、電、で、て、始、（三）治明、予、點、を、電、で、て、始、（四）治明、予、點、を、電、で、て、始、

（原）
子 辰

昨日、予、ミリ、薩州今朝而止、晴天トナリ、列ノ風依
然ハ、凍土、五ノメートル、及、バク、利、ミ、至リ、テ、企、ク
予、前、大、時、起、床、今、日、昨、半、坐、葉、後、通
予、后、大、時、上、村、金、志、大、本、月、新、米、料、持、来、全、時、携、帶
シ、タル、分、業、会、社、三、月、末、迄、リ、給、料、三、百、円、販、行、当、座、振
込、テ、依、頼、ス、今、台、会、社、并、分、系、会、社、ヨリ、支、リ、ル、給、料、キ、此
貴、其、ハ、全、部、身、在、振、込、テ、依、頼、ス
見、舞、姿、止、村、村、道、（青、美、和、会）
毛、塚、瑞、太、大、未、訪、近、日、齒、疾、為、信、少、其、リ、ト、云、フ、通、販
而、支、入、市、并、福、ノ、礼、ト、シ、テ、百、円、ヲ、共、フ
晋、市、一、上、虎、一、新、宗、一、新、職、ノ、ロ、ア、リ、ト、テ、族、校、来、ル、錢
別、ト、シ、テ、青、美、ミ、リ、外、取、内、ヲ、共、フ、然、レ、本、人、ハ、面、会、ヤ、サ、ル
台、七、時、半、志、坂、女、見、ス、

（一）時

（三）治明、予、點、を、電、で、て、始、（二）治明、予、點、を、電、で、て、始、（三）治明、予、點、を、電、で、て、始、（四）治明、予、點、を、電、で、て、始、

(二治明)お定を法羅戸でめ始 (元政安)ろは捕てしとんぜ投に魁米膳松田吉 (三和天)六十年す死刑七お屋百八 92

朝九時半起床夜未雪積事十寸春暖為正午ハ大ナラ
〇時半分未収成見上
右斗時坐薬使通
全斗時平分急急(吉祥寺、轉地ヲ思ヒ五ナキ時
半全有書美全案大気朗カナルメ暫時室内
ヲ散步ス梅ハ謝レ櫻花ハ則今ノ降雪ニ委縮シテホダ
雷ヲ破ラスニ庭ヲ色ドレセハレニキヨウト雪拂己
夜半下腹ニ行水シテ就寐

【附録】
新

新

【八巻】 朝大キ入機中子ハビシ 日生

愛育会 永井 商店
文部省 永井 商店
新

今朝七時半起床大気宜キカメ早リ(庭園、オリ、立シ
ト思ヒアセリタルメ更衣ノ除鼓動ヲ貴工暫クヤ
解ニ保テ十時半朝食ヲ一十時半坐薬ヲ用
井テ洋室便如ク赴ク便通一區役ハ元進ニ感
ス就屏直キ治マル作然大車ヲトリテ安眠ス
且午ナ代ナ来リ一時半辭去
右三時未収成見上迄案中全四時迄及迄未於
別ニ無状ヲ録メスト云フ五時半退去
運轉キ小坂則夜引込シテ日記帳ヲ持テ泊泊今
夕并大町ニ帰ル

わが家の機中子ハビシ 日生

本日、日之経商、視察、西遊、遊覧、会合、行、次、等、事、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、
午後三時、
日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、
午後三時、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、

大 湖

本日、日之経商、視察、西遊、遊覧、会合、行、次、等、事、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、
午後三時、
日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、
午後三時、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、

午後三時、
日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、
午後三時、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、

(九時) 午後三時、日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、

大 湖

本日、日之経商、視察、西遊、遊覧、会合、行、次、等、事、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、
午後三時、
日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、
午後三時、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、

午後三時、
日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、
午後三時、
本國大使館、茶会、二、時、に、行、は、し、た、

(九時) 午後三時、日伯、東京、公、使、司、外、務、省、神、祇、園、に、遊、覧、會、合、中、止、

四月、九、六、七、三、日、全、國、工、井、新、報、大、會、開、行、
ハ、昨、朝、社、用、員、十、五、人、福、井、素、夫、ノ、結、婚、式、

四 月 七 日 乙 亥 三 月

羊曇

正徳年代ノ帛襷ノ條
レ襷公社新田金六百兩
外ノ旅費トシテ百圓ヲ
費メテ合シテ年代ノ千支

朝九時起床十時朝食
十一時過小言又為女臥年赤坂柳公遺跡美生、柳木二本上
村禪造女ヲ介シテ寄贈アリ之レヲミ刑部、杉植シタル
今女今日荏症、御方鑑太師中候、許テ防テタル序ヲ以
テ杉植、或歳ヲ見ニシテ防向アリ小林茂、葉内セシメ榮
テ樹ニ天應、授十二時半毒ニテ返ス、自勤事ヲ呼ビテ之
レヲミ祥寺驛ニ送ラシム

十二時 平介筆藥快便アリ

今在當時正立ハ、千代子(女)則ヨリレ鳥村八重子(女)所レ
来ルハ重子ハ正子(女)密會ニカニ援助(疾少)ノメナリ正子(女)臥夜
未在セリモ棋(快)ヨリ来リ車中(熟)睡(ノ)メナキ祥子(女)驛ヲ廻リ
越シ境驛(マ)下車来在セリ(メ)十時ヲ過キ亮介(中)マテ
ノ時(南)ナカリトメメ本日補呈(丰)庫(ス)スアリ壽美(女)公株
千代子ヲ訓戒ス五時(過)正子(女)親子(年)子(女)帰ル正立ハ
今夜ハ時半(千)代子(二)行ハ明朝(糸)袴(解)苦ハ重子(ハ)之レニ

先子辭云

(備註) ちちとけい子と相成し 訓 月

先子辭云

〔寶永〕　ちち、かに船と云と相違し　御月

(九和明)第七面一十段徳園一第本公法入買金銀目(三正大)る終に立致不蘭内江清てに羅補伊和海(二承長)る生人上然法 103

月三四月乙
 日
 四
 月
 八
 日
 會
 議
 降
 尊
 釋
 月
 日

會の今日

星

八日会山六町
新

日華經濟聯盟外三國
聯合美國注重複業
一行激進政策會
紅雲額百六
新

朝九時寢床十時朔食十二時坐藥快便

右寺時羊志岐氏見上

全三時盡爲成未了了下園内芝生ステ花見ガテラ
一杯ノ酒ヲスム 花盛リナリ

千代子年三助栗女今期九時一待るニテ福升家
二十ト共ニ去來歸祿

九月時遊湯久振子入浴快云可加ス安眠ス
此朝眠如く香を多きイ

春霞たちこむ徳の永きなりき々年々ぬ

新日本大系ノ系編ノ度漢ノ普及版（即ニ卷ノ拾
ノノ制改本ノ撰撰ニ中ニ今時ノ加筆ノ系編ノ改
ス麻布区市兵馬町ノ六葉有延濟書院会取）

102 (○一正大) 布公法家僧、法僧僧 (元藏基) く 勢を城戸江瀬道田太 (十三元部類本) 國語強釋

高冠
皇太子
御座

辰巳 卯乙

辰巳 卯乙

八時頃迄日先ヲ夏タリシモ其右無天トナル然天先
報ミテ而降ルニ至ラス満州皇帝歡迎ノ観兵式ハ無
事奉行セラレタリト見エ十二時頃迄行隊四十五台四葉ヲツ
ラテテ立川ノ所澤西ノ婦未スルヲ仰ク
十二時頃迄床十時朝食十二時坐葉便通昨日
通朝食合弁ノ下西度園内ヲ散策ス
志岐女一時巡見ユ公女武野遊辭ミハ而降リ未ル其
際ヤテ座上ニ登リ櫻庭園内ノ芝景ト近
傍ノ景色ヲ欣赏シ快五ツ下カス昨日二階書并ニ上リ
美成ナキ以テ本日之ヲ決行病氣輕快ニ至キタルヲ喜ビ
本日朝夕云々微震ス
今朝もまた平々本あき夢少々のぬ極うを
むすし即チ春
雨降し野路もほ本の人稀き静かり
さるゝ事のためき（静かき春ハク多）
民間な規定は無い友を作る 尚国信郎

辰巳 辰巳

辰巳 辰巳

満州皇帝中未至
奉迎式歌舞伎堅
仁子時羊 新
大坂商船新進熟河丸
観望ノ歌友会
夕浦岸壁在九時半
新
昨夜ヨリ強知ナル幸凡ナリ花ヲ散ス至テ今
曉ヨリ終日霽而ノ降ル外モ得サルヲ憾ミトス
午前九時起床十時朝食十二時坐葉便通例ノ
右一時志岐女ノ下座ヲ享ク
花ハヤふ心ノ夢少モむをきす乃きわを
たゝ一夜半ノ雨音

雲川の明るき水に輝くる朝日
しほはせる霞をむべしつ
山名五郎

（附書）

晴

夜為新香由七曲忌退
懐念工世より右前
子公其五園 断

終日一犬雲なく近未稀有晴天ナリ
午前八時起床十時半朝食十一時五十分座敷快便
右一時五分迄岷谷来ル全三時晝為医未於
晝為岷谷より前々天来ル
三時半岷谷仙台ノ良一天婦久惟ヲ伴ヒ病氣見舞
ノ為上京来訪久惟ハナリ肥へ減ニオノハ見ナシテハ言語
筆郵トモ奈堂ノ著シヤモノアリ来リ合セケル世天ト共ニ
團樂茶茶ヲ喫食ス夕刻相立ナリテ辭去稀ル
晝ニ良一、百園ヲ興フ晝美ハ別々辭ナシ反物
小供ノ玩具種々ヲ興ヘタリ
春の宵星みの空に月候（下さるふ風おく
夜の散るまふ）
昨日午後候寄ヨリ仙名林女（赤令）ヲ并天ハナシ遣ハ
サレトゴロ及茶果ヲ贈ラル

（附書） さくらにたつ鳥の書も月曜 平代子

（附書）

晴

海外教育研究会
式（稀則堂ノ驛附近）
枳形山午前十一時 断

午前三時来南爪吹り候乱レタル櫻花ハ夜吹雪ヲ
ナシテ散ル
午前八時起床 晝美、十時朝食十一時五十分
坐敷快便アリ
中野池田男爵家々快ニ浦池田英千名村泰藏女
（故人長子）控所院族（女）弥泰一女ト縁談ナリ
方ノ意而向合セ来ル異存ナキ反ニ幸ス
経済維持社ノ署名（公令）ニ応用ナリ
夜見カ人見カ奉日輝シタル後勢斗百ノ人トテ東京
朝日ノ夕刻ノ見エ
衣業柄むて女の祥き春玉辰多ニむ
即迎を乃たナリ

すみだの夕山 櫻の花も 川原の波に小龍 辰多

雲雨

朝未曇天ハリ右三時頃ヨリ小雨刻ハシ降りトナル

八時頃初霽アリ又小雨トナル

午前八時半起床十時刊食十二時堅葉便通

右き時十分志岐女見工、

全時刻瀬下清次夫人見舞ノ為未莊書美面全

日の光見ふて候一ヤ路田ニ春

松板ノ小鳥の啼キ一花吹雪ニ

是ノ醉ふ者もおきぬ地和泉の春

日曜の人おきぬ土土茶事かし

(邦四ノミ)

三葉海上保次郎冠位室住

終日曇天夜ニ入りテ小雨降ル
午前八時宛床十時刊食十二時堅葉便通
午後三時十分志岐女見工、
全時刻瀬下清次夫人見舞ノ為未莊書美面全

正岡子規

正岡子規

雲雨

終日曇天夜ニ入りテ小雨降ル
午前八時宛床十時刊食十二時堅葉便通
午後三時十分志岐女見工、
全時刻瀬下清次夫人見舞ノ為未莊書美面全

正岡子規

正岡子規

圖本
 子甲
 用土
 分五時八刻
 日
 八
 十
 月
 四
 月三酉亥乙
 日六亥子

氣冠
曇雨
雲塞

京都西明寺聖旨

落慶供養

立則オハナリ 新

規矩
斧斤

東京ソフヰ
は日、サ
ムリニ
氏

送別張敬夫

二侯爺一掛川遊藝園

宋通文十册一三冊
反事不其

今日の命

朔来曇天正午吊ヨリ而トナル

壽美服痛_了感_了蓬_了腸_了便_了回_了後_了靜_了美_了良_了

右一時二分志收或見上

東京海上三菱海上保險會社 西三領収証

示假樂部 四月末五日 會見五拾兩 支取為一百圓 全封印

解職者委任佐々木、秘書役場、上村金治氏充

可以三菱秘書役席、由ケレハルトス

八日会相棒幹事内為久寛氏、五月八日、八日会々幹事

子代子、名之助、栗や共、神ヲ三リ上京、右九時、羊六

着、命亦天竹ヨリ通るアリ

〔悲憤〕 悲憤をほしいま、なる鳥の音 果 采

卷之四

晴天

東茶會

大相公六百年

祭孔人會

橋帝國教

子夜時分

東坡先生集卷之四

日本國分

金銀蓮花

三

中央社会事业委员会

報老會內務省第一會議室 乙一町半新

灯の街の銀座あゆみにひとの想はるゝ 茂呂誠太郎

今日ハ意外ノ晴天相日降予々快ス喜々堪ヘス

至前八時至夜十時專令三時便通夜八通
夜盡時二十分表板長具工

右斗時子代子之助栗々来在

食三時轉中食ヲハ惜メ方時直ニ遊樂ヲ行フ

二全方吉祥寺驛、送り甲州街道、七日、野橋

腰引^ハハ^シテ^ハ飛布^ヒ竹^{タケ}ヨリ^ニ鷹^{トウ}驛^イハ^シテ^ハ五時^{ゴジ}四十五分^{シゴ}

右六時羊牛犬等并天竹、歸北

得能通要公昨日云云新方公告之矣知リ玉串料

三、吉別主と合井ノマ燐 各三隻合仕、其匠以久焚并

山すみち芝生を候きて日た爰し

藤出草のほりやゑる春

國降後船優奉貨物船金剛丸奉觀望山棧指A(模倣)止十三三十四延、
 日十六日、月八見、モナリ、モ夜半一時半頃、地震、
 ヤ朝未、莫大ナリ
 朝八時半起床、十時朝食、十二時便通例之通
 午飯一時十五分迄、收見エ
 全半時廿分迄、夏海上係除、
 花番仕伏、
 使ヲ以テ、
 道病、
 糴、
 日、
 公、
 心、
 新

今朝一天晴、
 朝八時半起床、
 午飯一時十五分迄、
 全半時廿分迄、
 花番仕伏、
 使ヲ以テ、
 道病、
 糴、
 日、
 公、
 心、
 新

朝鮮産米、
 上、
 福、
 下、
 結、
 末、
 三、
 大、
 馬、
 碑、
 新、
 若、
 本、
 新

今朝一天晴、
 朝八時半起床、
 午飯一時十五分迄、
 全半時廿分迄、
 花番仕伏、
 使ヲ以テ、
 道病、
 糴、
 日、
 公、
 心、
 新

レールト資料農料昇降知帳、
 乙未年四月廿一日、
 乙未年四月廿一日

晴窗

新宿古苑
觀櫻會

中ニテナス

土居貞次郎

葉極細、葉七

命あり
り

晴天午後三時頃雪止、馳而アリ、約三十分ニテ収マリ朝
未暖氣宛モ六月ノ頃ノ如ク樹下ノ草爪ヲ懷リ思フ
午前八時刻床十時朝食十一時半坐葉快便アリ拜見
來候ハテ近更ニ
向三時半壽美公衆小金井堤ヨリ国府寺、存中、洞布
ヲ廻リテ茗祥寺驛ヲ通過シテ四時半婦宅本月六日
小金井ヲ通りテ多摩川邊ニ至臨ミ夕ニ時櫻樹ハ尚冬
枯ノ俣ナリトモ今ハ早一分ノ外ハ花散リテ全葉櫻ト
ナレリ婦リ路ニテ曲夫ノ前來ルベキ云々
此四時半直居氏來談
壽美君天竹ヨリ土居貞次氏肺病ニテ斃レ明後廿五日
青山斎場ニテ葬出葬ノ旨通知アリ香奠三拾圓ヲ賤
ルーツス氏ハ余カ病先引ニ載リ以來心懸ニテ度々見舞恩
レタリシモノ突然計ニ梅シテ驚愕ノ不堪代理会矣非セン
ナル積ナリ

向三時羊壽美公衆小全升壇ヨリ匡存寺、存中、源布
ヲ廻リテ甚祥寺隣ヲ通過シテ四時羊掃陀、本月六日
小全升ヲ廻リテ多一筆に度ニ冬尚シタレ時櫻樹ハ亦冬
枯ノ俣ナリトモ今ハ早一介ノ外ハ花散リテ全葉櫻ト
ナレリ掃リ路ニテ曲夫ノ訪来レト会ス

右四時半盡為代來款

薄著^て天^に行^き三^り土^を身^に附^け窮^{くわう}と^も田^の在^る所^を
 赤山齊瓊^{しやせうじやう}と^も言^ひ并^び与^よ画^が知^ちアリ杏葉^{ぎやうえつ}三拾^{さんじやく}内^{うち}ヲ鶏
 ルトス紙ハ余カ病^{びやう}久^く引^ひテ盡^{じん}リ以來心配^{しんぱい}ニテ度々見舞^{みまい}送^{そう}
 レタリシモノ突然^{とつぜん}ナリ梅^{うめ}ニテ故馬^{こば}悵^{たう}ミ不堪^{ふざん}代理^{だいり}会^{かい}矣井^いセン
 ムル積^つサリ

社會の今日

〔松の花〕 罪なく問ふ寺門や松の花 枯葉

日本會館

寄晴

金山延任会新并集

石土時
斷

國除觀矣夕日比之

公自棄伯之野

帝國水難會評決

會

軍人會館

變日仙會領補送會

幾日所ヤウナリニテ上ナリ天多ナリ
 午前八時迄床十時朝食十二時伏使
 ナ信寺時三度上村金右氏未莊家針貴ナ五百圓ヲ
 得テ大其使、日本定濟聯盟会卒年上平年分員旗額
 六於圓支ナメメ現金百圓ヲ托シ今時、台添、張矢
 幸附金振合取調上中込テ依頼ス
 此時迄松村龜太郎氏未莊村ニ現從某莫ノ内
 西田(百才於川ニ)室所(六於五洲ニ)某月ヨリ、年給申渡テ
 依頼ス
 佐五野志煥氏治療ニ見テ
 則チ信寺時夏春雷驟而テ伴ニ来リ新石ニ苑々
 雨降下、行幸路ハ瘡ニ成見合下ニ然テ雨中日光而テ暑
 時ホラぬきた方(藥而)をささふ鳥神のなたぬく
 そり、日无中りあり

佐五野志恢戎治際見六

那千信事時夏春雷驟而千伴に未り新石は苑々
 而陛下下千伴落し處に石見今下元然之而千日无而千
 時ふらぬきた方(藥西)をさふ鳥神のたためく
 そふく日无中(ありあり)

日本経済聯盟会
定期会主前亦干
委任状送付 所
日仏会館理事会及
行政委員会主前土野
所
日本経済聯盟会
主前亦干

午前八時起床十時朝食十二時便通例也
午後一時至五時、夫村利雄及宮所喜雄、兩人
又舞、主前訪各様、印刷物ヲ持来ス
公三時、島村正十母親八重子公伴来月一日海法家、
入館、職人、主前在六時頃辭去
本日ハ茶室前、庭、南天、植受ヘテ為ス
午前十時退地敷了リ

生きたるが死なうか生きたるを懸念
友國に用一紙の書を見せ
種子人

朝七時半起床十時朝食十二時便通例也
午後一時至五時、夫村利雄及宮所喜雄、兩人
又舞、主前訪各様、印刷物ヲ持来ス
公三時、島村正十母親八重子公伴来月一日海法家、
入館、職人、主前在六時頃辭去
本日ハ茶室前、庭、南天、植受ヘテ為ス
午前十時退地敷了リ

朝七時半起床十時朝食十二時便通例也
午後一時至五時、夫村利雄及宮所喜雄、兩人
又舞、主前訪各様、印刷物ヲ持来ス
公三時、島村正十母親八重子公伴来月一日海法家、
入館、職人、主前在六時頃辭去
本日ハ茶室前、庭、南天、植受ヘテ為ス
午前十時退地敷了リ

生きたるが死なうか生きたるを懸念
友國に用一紙の書を見せ
種子人

晴曇

山王寺文長曾下忠
ト有田八郎次ヤ有里子
ト結僧 松本
末宗会 飯伯五時半
飯子 飯 飯 飯 飯
一桶

午前八時起床十時朝食十二時及一時、而度堅菜ヲ
食十一時登山景板来ル
午前一時半松板来ル
全一時半五分船田一雄氏見舞ヲ受テ末在壽美徳
接余ハ松板バノ志ニ應テテリテ面会ス会社株券名義
品贈ノ件注シ置タス三時半頃辭去
全四時過港山景板ヲ四景セシメ壽美ト共ニ全人必布
三鷹ノ地知見分ニ至リ地々凡十数百坪松樹古杉多
クハ溪南方ノ地界ニ沿フテ流レ則望見シ全人ヲ吉祥寺
驛ニ送リテ六時頃帰荘ス
立夏
此ノ春を送リてハ并ニ知シカニ乃水好キ
女来リヨリ也

（注）書き来ニ山王寺ニある酒かな 慎 柳

晴

ハ天子ガ電多会社
々長メリヨク会 歡迎会
丸内会 飯伯五時半
三を川百太郎氏ヨリ
清懷（銅）塚田泰介氏
ヨリメロンヲ贈ラル

午前八時起床十時朝食十二時及一時、而度堅菜ヲ
用升テ快便アリ
午前十時半松村毫太市夫人見舞ニ来リ御軍ノ外
部ニ相テ持来ス
午四時丁五分天氣温知ナルト案シ壽美ト共ニ大宮江
彦宗ヲ以テ性路ハ牧岸所ヲ歴テ宿茨道路ニ沿テ板
橋街道ヲ突破シテ国道ニ出ツ其間道路狭隘車
馬輻湊困難ヲ極ム云云（国道ニ出シハ補装ノ道路
ハ幅広リ雖也、加リ往來未稀ナリ以テ且取高五十五哩
ノ速ヲ以テ馳走シ仰ヤニ至、余ヲ一時前ト十分ニテ
大宮公園ニ達ス余所見如怀念、上六時半余所ヲ至
テ水川畔ニ、遠岸島居前ヲ離レタルハ六時半分ヲ
過リタヨリ浦和ヲ（變テ国道）ニテ板橋ノ入口ヨリ右折
回無街道、オテ七時十分帰荘帰路ハ九時半ナリ

晴

八日会

四友久寬及介
幹事

次

天業教習總務會

牙二画 懷 送 合

二廿六リテフ右四時

疾

午前八時起床十時朝食十二時便通例、通

午佑（時志）叔見

全時老病勝六未訪壽星在令

洋食器類
口食卓用食料至及食料至入

二個及針銀盆ヲ持去ニテ賤ラル

全三時載成送來於

今也時階上畫拜、於二十四日爲松室殿下而殿而翔矣

七召辟辭、書、面于、德、

西三秋帝署三リ必得佳、廿箇合、事煩、冬耕、作

入其書面ヲニ要秘書役場ヲ令シテ
役所セシメトス

全時、明治三十七年、火災保險会社、保險科、支店、開設、

日本帝國銀行總行
の、スリネリ名賛助者三枚

子聖而子邦受二千石一以不

山名余氏、各年歲、齊德、付心、夕、牛、氏、三、六

びようびようと海にむかひてうねりゆく
 腰の光りの響あらしかも 太田水穂

王會の全日

晴

海軍懷公評議會

新安縣志

十三日正朔

天

—102/0000111

午前八時起床十時朝食十二時便所
例、如

午食時工業俱樂部，膳櫃之助，或來訪應接不遑。

卻恨良以二，而八反荒木真濟，候命著敷字垣擁。

五、六次、萬マリワアルと有アリ

夜上時羊入谷

高橋鍊造氏夫人トキ一邸
死亡奉日自七七告別式ニ付

花環并、魚衣見舞ヲ贈リ全日石斗珥中歸余次下

夫人青山奔第、千卷列式、竹西共、

代金會葬せしめ香奠弔治哭ヲ贈也

晴雲而雨

高松宮殿下文化

振興會演説（米國

在國演會演説一行

の宴會に催され

石

霞南雜宮主臨時

十日正、拝辭し、

朝霞晴正午より曇夜に入りて小雨トナル

朝八時起床十時半朝食十二時十分便通

右零時二十分迄夜更へ公斗時半並夜迄来

公斗時壽美共一月半振りて年天竹本宅に

帰リ帝（主）復興會（共）明日より来リタル年

公斗時壽美共一月半振りて年天竹本宅に

公斗時壽美共一月半振りて年天竹本宅に

公斗時壽美共一月半振りて年天竹本宅に

公斗時壽美共一月半振りて年天竹本宅に

大池の邊の四角の山にひかり
月夜の露の人のとよめき 金子繁葉

雨晴

國隆電報協會

午前十時

午後一時

日本放送協會（食

米有滋三篇十年

演説 帝國天皇后

孟母羊

漸

長リ天気晴キとテ雨降ラント降ラス其菜園ノ為メ家

而テ其妻ヲタリ冬夜未ノ小雨ハ暖トナリ一時日先ヲ見タ

ルモ九時迄ヨリ次第ニ強シテ五時頃霽レタル相

タリ而テ其妻アリ移植ノ草木ノ為メハ焚火ナリキ

朝八時起床十時半朝食一時十分便通

午前十時半歸リ午後一時未訪鮮朝一休ヲ得テ未訪

ノ案件ハ品日中未リタル前中山銀行頭取ノ為メ中村

是公未亡人名義ノ三五公司株斗十株賣却ノ件仲介

取前レハナリ

本日日本婦人海外協會ヨリラレ賣買ノ米廿九日新

橋渡舞場觀覽券斗拾枚ヲ病中軒地不在ノ理由ヲ

以テ面會ヘセヨリ書面ヨリ返シセシム

144

142

午前八時 起床 九時 半 朝食 十二時 便通
午後一時 志坂氏 見入
全武時 上村金造氏 未莊 引込方 依頼シタル 金武々内
ヲ 支取リ 全時、毎船 上 半 冬十 資 票 武々内 ヲ 當 坐
ニ 振込 ヲ 依頼シ 大 社 宮 島 及 郵 船 郵 當 金 領 収
証 會 社、分 ヲ 午 交 ス 尚 本 月 八 日 會 費 用 介 換 額
石 寺 内 澤 山 口、支 取 為 公 氏、現 金 百 圓 ヲ 渡シ
置

全三時 三行 重道氏 具 舞トシテ 未莊 芳ノ 湖 岩 崎 別 館
祇ナリ 米 國 庭 園 恨 今 負 婦 人 九十八名 全 件 胃子 糖一
名(平均 半 熟 六十五) 松 井 稔 操 並 此 日 會 社 復 案 内
一 株 十 ヲ 獲(取入)
全四時 衣 履 送 未 於
来 月 介 家 計 費 十 五 百 圓 ヲ 寄 美、衣 入

午前七時半迄、床十時半朝食
一昨城多曇、霧、白身ヲ食ニシル結果、昨日
未曉、ユルミヲ感ズル如ク今朝軟便アリ、肝中
食、右面度便如ク赴ク下ニ刺、氣味アリ
日本実業協会、長根津赤（即チヨリ入会）勧誘、其
ニ病中入会諾否ハ暫時保留致度ト申シル

晴多雲
日本報立輸込会社
会合一六行録
午前九時半
春任状奉付
和田栄二四男殿祐ト
山内豊中改直下
ト若殿披露
帝國ホテル六時
祝祭披露
才宗殿、案後授会
理事会合(一)半

朝八時起床十時開食十一時五分快便
午後三時半田万蔵夫人見舞舞、見工面会ス
全四時退會、夫々天所、身ヲ歸途、楠瀬福子
、八木、郊、立寄リ九時帰荘
神ア三度造船、知木、枕、大石正信(甚吉良信孫)
ヨリ身工、件、有、家、所、乗、全、人、由、氏、先、備、質、而、人
、妹、て、猪、子、子、リ、依、テ、証、明、メ、メ、送、リ、来、リ、タ、リ、其、而、類
、寺、様、及、送、シ、其、書、面、ヲ、所、長、松、井、小、三、郎、氏、に、封、送、
、シ、考、慮、全、地、キ、ヤ、否、ヲ、知、ス、奉、人、ハ、林、田、三、郎、夫、何
、二、目、二、三、番、任、

川、た、わ、れ、の、お、も、い、つ、し、め、し、
増、減、和、成、大、小、如、し、
正、國、子、規、

以雅救済会通事
保会因様館様式
十時 新
北澤太、倉、倉、保、会
主、保、保、会
春任状奉付
午前九時半
才宗殿、案後授会
理事会合(一)半

朝八時起床九時半開食十一時半快便
午後(一時)志城、長、見、今、明、全、長、新、礼、五、拾、圓、ヲ、贈、ル
全一時半井上連(夫人)静子、族、珍、ミ、来、リ、青、美、面、会
四時辞云
全四時十分服装、改、メ、鳥、居、坂、社、長、郊、所、向、並、テ、没
リ、置、キ、タ、ル、又、平、下、月、迄、陪、并、袍、一、人、定、作、ラ、ズ、却、ス
、介、ト、モ、名、子、リ、社、長、未、少、婦、宅、ナ、ク、大、人、巨、未、寒、中、ト、少
、キ、謝、辞、ヲ、取、次、ノ、者、に、依、頼、シ、六、時、帰、荘
、小、振、滞、在、使、明、日、上、村、氏、に、送、ル、ハ、キ、日、本、板、立、輸、込
、株、式、会、社、取、寄、領、収、証、入、リ、午、後、ヲ、休、ス

晴

八日会迄六時

給事御池田

未賓岡田有相

五依明会慰要祭及
保合千石斗時

ベール女歡迎茶會
此士会館右二時

五時一月所

朝七時十分 新床気分爽快ナリ十時朝食十二時

半快候アリ

午右寺時半壽三夫 墓老う至十 菜鴨ノ母人ノ様様

ナ付に掃途 亦天何幸をいふナリ五時半婦在

壽美御宇中 天村利之及 秋山夏萩ノ両氏見舞

貝工秋山氏ヨリハ川合清丸氏著無病養生法一冊ト

クル三二個ヲ贈ラル

夜十時面友仏法館ノ放送ヲ聴ク

臨時の休養となりと出づ。大工の仕事は二ふたりけり 下島屋蔵

晴

新船船艇競漕

大会主則十時

六川艇庫前

全国學生創造會

日本青年館

朝六時頃 森直リ除睡逆ヲ感ス煩憂ニシテ回復

シタルモ其快ニ并テナラザル感アリ依テ早朝速復

送師ノ許ニ電話シテ未於テホム於テ奈ニ結果失敗

脳食血ト一ツニテ終日静養ニ勉ム

十二時朝會 斗時頃快復アリ神ニ次差ニ回復ス

夕六時頃 夜長再度未於アリ 別業ナキヲ確メテ

帰ル

午右寺時半頃 三隻製氷機ノ信貴美藏氏見舞舞ニ未

ル其序ニ夫村工場内松村金若成不和ノ件并ニ今村

貞次未亡人ノ件ヲ用シ依頼スル如アリ

乙亥年閏五月十五日

[illegible]

社會の今日

朝ヨリ斗時頃正晴レ三時過ヨリ驟雨雷鳴アリ
夜ノ入ルモ止マズ

夜に入ルモ止マズ

朝七時起床九時朝食十一時十五分便通アリ

介豆口

午後一時半頃ヨリ四時頃迄、
松村龜太郎、武

田齊雄倉成文太ノ函女并、福升榮三郎成夫妻

次男 空殿 全道 貝舞 卜候 抄ヲ 益ナ 来庄

四時不虛保長來於

夜分ヲ午オトテ
葉島すみ子ノ
朝日
正ノ深
夜ヲ
曉

169

(八和照) るか開議會濟經界世

(完政安)

む定と號記の船輪邦本て以を試章日

月五閏亥乙 日十月六 日念記の時 曜月巳丁

臨	宣	臨	宣
五月末評政司司換	新	帝國水災救濟會 評議大會至人合報	新
實業教育總議會 工部下入合開	新	華族公領台六町 金貴成門	新
バニイ氏歡迎聯誼會	新	巴尼氏歡迎聯誼會	新

本日ハ爽快ナリ 朝七時起床 十時朝食 十二時便所

園內散策從來通

子后十二時半志城女見人

此朝久居成安ヨリ歸齊也

欺
テ
ル

此日若林半氏ヨリ函致メツカニ至キ所リ拜用ニ々郡

正三 細川將 鈴木剛三氏 アラビヤ 礼装ノ写真ニ乗

ヲ校抄、書面、添へ、贈之。

六月の胡瓜のしも種つけて
生の胡瓜をわが食しにけり

前田夕暮

(四和唱)殷新書羅莊 (一一治明)及丞相晏官士軍鼓 (三致寬)〈謝德輝亭柳 (六一長慶)守親正清蘭加

晴天

雲

井上（五十七歳）
丸中（五十五歳）
会費 斗円 断

大将会

斗円 断

牛込刑務後援会
会費 斗円 断

七時 断

（三）

今朝七時起床、浴し心気、元進う感、引續き而
度動悸、寄マール貴工、依り而、外床十一時過キ
目醒、十二時朝食、二時便通、午、以来、良好、
断、
本日三時大橋新太郎、来訪、初アリ、七、若、次、
右三時田奈豊夫婦、又舞、も、未、在、病室、
夕、ヨリ、分、持、直、と、タリ、今朝、桑、作、ハ、昨日、引、續、き、未
訪、客、面、接、シ、タル、カ、ト、思、フ、
日本、赤、十字、会、（京、枝、店、新、庄、西、六、丁、目、六、番、地）会、費、奉
月、ヨリ、和、洋、半、分、六、拾、円、ヲ、郵、便、口、に、振、込、其、右、引、退、会、
ヲ、通、告、ス、
中、華、民、国、々、民、政、府、ハ、恭、賀、開、元、年、
ナ、リ、北、支、ノ、爪、雲、靜、止、状、作、ト、ス、
梅、入、は、た、の、月、夜、お、は、つ、め、き、
朝、の、雲、は、天、ヨリ、も、ッ、
吉、越、庄、新

晴天

雲

昨日ヨリ入梅トタクモ、天気、晴、朗、而、模、梯、ト、ス、午
武ハ、千、梅、而、ナ、ラン、カ、
午前八時起床、十時朝食、二時快便アリ
午、向、三、時、半、三、女、保、陰、ノ、市、井、成、台、病、并、麻、束、
ハ、至、ス、ナ、リ、
朝、告、書、三、通、
調、印、ヲ、ホ、ル、カ、未、在、

（三）（五）（六）（大）（水）
（三）（五）（六）（大）（水）
（三）（五）（六）（大）（水）
（三）（五）（六）（大）（水）

晴

中央社会協会主催 エルズ生校授エロム デニス博士講義 午後四時 新	白川会 辛酉会 新 美利大 二四会 八分 外 同 新	旧友会 辛酉会 新 土付会 貴子 松内 新 入 辛 新
---	----------------------------------	-----------------------------------

昨夜蚊遣掃香、煙リノ為頭室リ胸寒及二夏ヘタルヲ
以テ今科晩早ク而テラ中カレム
午前八時起床十時半朝食十二時半便通
午前十一時半演田彪女十台一時半奈田セガ太郎女
貝舞未ル而女共病室ニテ面会ス演田女ヨリハメロシ
二個奈田女ヨリハ而洋菜干ヲ贈ラル
至祥寺井テポンプロ佛壇ヲース
十四日の月晩々ナリ
梅雨時ノ雨ハ空ニ賦はり秋かと
マシム月ノ明ナリ

夕いまだ余熱あり窓にふゆのふき
古き草鞋をぬき窓にけり
平 百 穂

晴

帝國義林会 評議 会 及 休 会 二 会 会 辛 酉 会 新 三 会 十 四 辛 酉 会 新 カイクトルニニニ 五十年 紀念会 明治生 余 飯 午後六時 新	納税期日 自 勤 辛 税 納 税 局 出 日
--	------------------------------

今晚未明、初震アリ
朝八時起床十時朝食十一時半便通
正午頃、頃、頃、母人池田久馬女全道余ノ病氣ヲ
訪ル母人ノ余ノ家ノ入ルニ之ヲ以テ橋矢トス余ハ其
未訪ヲ喜ブルト均シク母人ニ亦其ニ居地ヲ捨テリノ會
ヲ得名ニ満足スルナラント思フ計時過シテ余ハ自
午前三時頃、母人母人ナシ未だ得ナリ於新
・結果ハ取立テ云フ程、辛酉トナリハハハ日
十右百五十五最後ニナストシフ

梅雨時
梅雨の田川流れをせり聞けり
次 百 穂

[illegible]

昨日未素南ノ爪挫リ吹ク夜ノ入り小冊がけル
午前八時迄床九時半朝食十一時半便所
午後零時半老版成治療ノ夏エ天風水曜以未個武
不草ノ力回療ヲ休ニ居ラレリ
全四時頃迄為淑十貝ノ矢般未在ノ市壽美ノ水メケル
小袖ヲ名古屋帶ニ仕立持テスセ時解テ自奮事ニテ洗
ミノセ送ラレム
大橋新太郎女ヨリ中野武蔵翁前七十年一冊ヲ端ラル
夜分其ニ看リホ甚し

[illegible]

午前七時半に起床九時半朝食十一時半快通アリ
午前十時半柊瀬斎庵未莊就職、件ナリ青美面会
今人返出、列参違へ大橋新太郎氏見付、見へエゴオス
一箱ヲ賜ハル
午台一時半小松傳（即代見舞子）至し今人借金延期
急請メ（去年未迄）未莊葉子折持テ青美應々
榎
中食後三時半青美全遊或相境界平州街道、大ダ
ルミ正當業公所近一時ヲ費ス山ノ茶亭ヲ寄シ居
憩ヒ爪金ヲ受メレ六時十分ニ神莊山中ノ道路立（二市
前）以レ面目ヲ一新ス
酉半中並茂匠更エトタリ
大久保直田氏ヨリ今人友人ノ親戚が友年會費然有
長方門僑（唐館）聖堂金文々一人半七分元小坪玉都聖町
應永九十九月廿一日（作銘）元大聖院寺置（書印）件ニ付
申越下り目方十三番員白金入上戸

女表 御免しなすごめんの
本より一八番なりむの
石川 楓木

日四
七四
七十五
時分
七十四
七十五
時分

主明
一
二

工業ソフ清興会
六時半
新

座	座	座	座

午前七時半至九時半朝食十一時半便所
午後一時半至三時半未だ
全斗野上村金治氏未訪金四百四十円金主替北支松
ノ金銀ノ小知子ト李月家計費ト直取金計五
百円ノ小知子ト未だ銅貨三百枚銀貨八金壹百廿
十圓也、助佐預金請取付後レ其市、助佐預
金通帳銀行等注通帳及全持当通帳三冊ヲ後レ
記入ヲ依頼ス
松村進太郎氏支村工場ノ件ニ付未だ
瀬下清夫人未だ番美面談
午後五時過番美弁天ノ外ハ八時締着十時夕夕得
座知ラ持ナリ
ト一々和母病氣見付ノ為床込ノ婦有律ヤリ
弁天知ラ来ル
池田成彬氏見舞トシテ自国ノメロシ五個ヲ贈ラレ

高知の風物とついで
幼き子供のまねをくすり
影法師子

座	座	座	座

日五期五乙
日二二二

量天
一
二

午前八時十分起床十時朝食十二時半便所
全十時十分固司浩助氏次三男金道員舞ノ為未だ
十二時半辞次テ舞ヲサレ内及塩付(自国)ヲ直人ヲ以
テ贈リ来ル
幸別恭番勝候故太郎養子奉公先ノ件ニ付
五京昨夜半未だテ茂方ノ伯父ノ別荘ノ野奈反
抵拒若千ヲ持参ス本月介経費花百円ヲ返ス外
ニ金以テ旅費花ハ給與ス

(一四前明) 高知の風物とついで
幼き子供のまねをくすり
影法師子

明會の全

時	事	所
午前八時	日本文化協会講義 工部局ラヂオ会館 臨時産業合理 統制委員会 南正大臣官邸	新
午前十一時	午前八時	新
午前十二時	午前十一時	新
午後五時	午後四時	新

(五線本)も生正清益加 (先吉部)予教を教義利足軍警部滿松崇

日曜りつぎ河堀せまる清波に
ひたまる船を正目には見づ
大矢ら子

時	事	所
午前七時	日本文化協会講義 工部局ラヂオ会館 臨時産業合理 統制委員会 南正大臣官邸	新
午前十一時	午前八時	新
午前十二時	午前十一時	新
午後五時	午後四時	新

(七一前)生正清益加 (二前)も作を誤し定改を録満事加

明書(白)

日産米会主前(青上)十時
東亜米会主前(青上)十時
安代米会主前(青上)十時
岡田米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時

午前八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通
午後八時起床十時粥食十一時十分便通

明書(白)

大村茂野外十時
中部米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時
米会主前(青上)十時

午前八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通
午後八時起床十時粥食十二時便通

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

午前八時起床十時朝食十二時便通

午後一時半起床見工
世夫より書面ハ一昨日日本人と午交ハハ高柳瀬速雄氏
端書ナシ

午前八時起床十時朝食十二時便通

午前八時起床十時朝食十二時便通

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

日 月 年

午前八時起床十時朝食十二時便通

午後一時半起床見工
世夫より書面ハ一昨日日本人と午交ハハ高柳瀬速雄氏
端書ナシ

午前八時起床十時朝食十二時便通

午前八時起床十時朝食十二時便通

午前八時半 新
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度

日本銀行新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

午前八時半 新
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度

新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

日本銀行新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店
新田支店

午前八時半 新
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度
午後二時 辰度
午後五時 辰度
午後八時 辰度
午後十一時 辰度

晴	陰	雨	雪
午前八時半起床十時テ分朝食十二時十分候通 本日ハ昨夜屋下蚊ガ多ク眠テ得サリシヲメ頭重カリシ モ暫ク成テ息ヲサリシ為七時半ニテ得タリ 朝九時半ニテ川百々太郎氏友生ノ対ル記念品ノ件并 山岸啓之助氏キリンビル常務取締役ノ件報告ヲ未防 全時ニ林橋シロフヲ打テ持来 坊々ナキ父會振忠兵衛氏鶏枲焼カニ雪筆普 化禪師ニ南禪寺寄山賛茶楓一編ヲ持来ス一時半 許云 午後一時テ分志坂成夏上 貝舞志堤茂近松岡浪太郎小林利助樋川重志 福井夫人五重未亡人小塚未亡人（シラメン并持来） 大卒政吉氏未刺者覽希（草武攻ヲ鶏ハ（ヤ）ン（合）			

（八日）

さるべの春はうれて赤々と
雨にあつて、色鮮やかにけり
下島海頭

晴	雨	晴	雨

高 程

雨

設 定

東京市防空大演

徹宵

午前八時半起床十時半朝食十二時快通

午後四時着渡帰吉田おヤ、昨日ヨリ登熟七度半

兩三日綿茂養生シタレトノ付之レヨリ許客シ小坂婦

知ノ便、自富来、テ赤十字社ニ送リ旅費上陸ヲ共

小坂婦知ノ便、テ三妻銀行テ壽美改印金（印

銀三葉）并、東京銅鼓会社へ新株三百株、中三葉

正副一通ヲ書留面ニテ郵送セシム

梅雨道愴カ、一八日ニ而

常根五兵衛氏ヨリ空欄ヲ寫ラレタルツキ

寫ハキ、一人ノ真心保ナル、あか花ホカむス

筆ハ讀ムカ

〔註解〕

古巻附くこゝろなし紋紙を貼る

雪 鏡子

（八日）

さるべの春はうれて赤々と
雨にあつて、色鮮やかにけり
下島海頭

晴
東洋聯合評議会
大阪ビル十台九時
日本文化会満座会
二葉リヲテ台四時半
大内子製食会
久嶺
中失
新

午前八時半起床十時半朝食十二時半快便
午前十時半中工必店橋本氏来ルスニ名義ノ吉祥寺別邸
手庫新築願ニ達者シテ之ヲ全氏ノ後ス今時ニ吉祥寺
及井天町ニル半本間ノ修膳料四百五拾斗圓ヲ支払ヒ中
元心付トシテ全氏ノ全支給圓ヲ其ノ
見舞金及中元儀抄者三軒室道夫人、全氏及文太(昨夕布
袋井ノ金藏ヲ三藏リ必来ル)兼山宗月(青海波金盆)
飯為吾人持テテ床抄ノ午飯来ル
故神沃木也氏未亡人七日録念ニテ(此云十一日金盆井ノ飯
リ否前式武拾圓ヲ送ル事トス

〔其の四〕
植物の園の句を分して書む
多野吉治

晴
東京鋼板新株
申定期日
大葉村葉特別
本會会午九時
内相官邸 新
養育院事業施設
監視(宗談会)
子台(一母リ)
大倉別養育院
各公事内 本園子元
右六時 新

午前八時起床十時朝食十一時半便通
午右老時老坂氏見エ
全三時二十分江口之糸氏見舞ニ見エ縁合匠學主改
者トシテ匠界ノ牽連者ヲ以テ目スニヤ柳理學士看步
田政一氏ヲ近日紹介弄速レ未ハントノ事ナリ全氏ハ
年勤リ二十五歳ヤリトス
壽美改印由ヲ牛込區役所ノ証明書ヲ添ハハ正十
區裁判所回無出改所ト小田原区裁判所ノ而茂
、畜田郵便ノテ吉祥寺ヨリ送ス
午右四時半ヨリ壽美ト共ニ三玉子ノ爪飯及上座茶
池田ヲ直送シ終途ニ三玉子ノ爪六時半頃終
庄

〔其の五〕
植物の園の句を分して書む
多野吉治

壽美改印由ヲ回無出改所及小田原区裁判所ノ而所ニ送ス

日	月	年	時	分	秒	備考
三	十	七	八	時	分	午前八時半起床十時半羽會上時快便
			九	時	分	午後一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十	時	分	午後二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十一	時	分	午後三時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十二	時	分	午後四時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十三	時	分	午後五時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十四	時	分	午後六時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十五	時	分	午後七時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十六	時	分	午後八時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十七	時	分	午後九時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十八	時	分	午後十時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十九	時	分	午後十一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十	時	分	午後十二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十一	時	分	午後一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十二	時	分	午後二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十三	時	分	午後三時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十四	時	分	午後四時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十五	時	分	午後五時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十六	時	分	午後六時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十七	時	分	午後七時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十八	時	分	午後八時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十九	時	分	午後九時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十	時	分	午後十時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十一	時	分	午後十一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十二	時	分	午後十二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印

昭和七年十月三日

昭和七年十月三日

昭和七年十月三日

昭和七年十月三日

昭和七年十月三日

昭和七年十月三日

日	月	年	時	分	秒	備考
三	十	七	八	時	分	午前八時半起床十時半羽會上時快便
			九	時	分	午後一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十	時	分	午後二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十一	時	分	午後三時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十二	時	分	午後四時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十三	時	分	午後五時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十四	時	分	午後六時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十五	時	分	午後七時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十六	時	分	午後八時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十七	時	分	午後九時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十八	時	分	午後十時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			十九	時	分	午後十一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十	時	分	午後十二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十一	時	分	午後一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十二	時	分	午後二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十三	時	分	午後三時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十四	時	分	午後四時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十五	時	分	午後五時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十六	時	分	午後六時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十七	時	分	午後七時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十八	時	分	午後八時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			二十九	時	分	午後九時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十	時	分	午後十時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十一	時	分	午後十一時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印
			三十二	時	分	午後十二時午後銀行小出半宿宜役会決決書、預印

月 六 日 亥 乙
日 七 十

晴少雨
夜雨

海軍怀念評議會

水变正午
断

道器改良會評決

會午何斗時

小山繁藏中書

別立壽山齊集

仙舟時三時

代序

會の今日

午前八時就床十時朝食十二時便通注意ノ為無事
 内々山作三節付士ヨリ病氣見舞ハ中エラ至テ明治十六年
 三月自今在學中共ニ學校試験成績表ニ高鳳輪花井ノ
 福ヲ贈リ来ル
 午向の時止ナシ志岐女見エ
 今此時中島洋園次女見舞ハ見エ木村小右衛門氏明年
 十一月迄メヨリ續出ニテ大メ取品内料ハ入院中トナリ明日
 貝舞示ヲ病茂ハ送ラレム
 夕刻典夫来ル大手城部申出ノ愛話平ニ推ト福井山林田畑
 陸軍賞上ノ麻スル川内成ヨリノ素見報老ノナリ
 陸相林銑十郎氏ハ人々素富ニ隆シ直所教育奨與
 祇先ヲ法行軍部機案ハ批准ハ真諦ノ其腹ト其ハ視
 ノ案動基リ多クシ今度里ニ該官ト文送ヲナリ快
 呼ノモノナリ
 廿日金社ニリ壽美實ハ株六百株半株壽六松廉ヲ送り来ル

小草がなかの表願の花 木下利玄

木下和空

中華書局

氣冠
羊曇
遊寒

小山田中氏ヲ弔ス

刀みる眼も瞬たり

夏九月

木
乙

日 八 十 月 七

月 六 日 亥 乙
日 八 十

0000

午前八時半 衣床十時 相食十二時 頗快 便アリ
 内海久寛前ヨリ全戌七十七令座セテ計歳ノ自祝トシテ京都
 近藤悠三製花瓶并、金吾詠草此余影集一冊ヲ贈ラ
 兼テ娘玉謹言成ヨリ申越テリタル故井上準之助氏判行卿
 付スル弁附金壹千圓セラト書付ラヌテ明日全戌方、送ルトス
 壽美印 鋳扁(年ノ字は長元明高) 計正ノ分ヲ前項ト全
 保ハ三千圓大判を回無ヤ流所、送ル
 内海久寛夫婦乃高熱を更添テ
 みわし更シヤ、牛込歳の山北時甘ア、折連に於テ
 少くもぬかざリ
 連もたおすのほろもいと
 老の山七十歳の坂
 を登り、又下

〔打水〕
水を打つ 出合頭らや訪はれけり
泊 月

泊月

昇玄

張

日九十月七

月 六 四 亥 乙
日 九 十

社會の今日

今朝九時十分本年入りて
強震下り芝生に立竹

テ地ノ動在ヲ感セシテリ震源地ハ鹿島沖トス

午前八時起床十時朝食十二時快便

朝食後入壺ヲ洗フ井下ノ入壺ヲ析斷ス處ニ日ナ

藥料ノハ、爲醫師ノ要請シテ小瓶ヲ持込ニテ供進

子依賴下

午止豆役所より一圓也得稅徵稅令書訂白合

トスリ来ル先日 配作セラレタルモノヨリハ 合計と称テセ

上村金治代牛許

戶部

香竹而村未之
九鬼夫人若（中村治五郎氏）

台三羽成 雀の西村未亡人ナリ

淡き火のほかにゆれて睡明き
テントに寝ね友等と吾と
白川 嶺二

白川 162

(九九八一)る終争戦西米 (一二治明)く艦舟艦関山 (元治元)戦の門始 (大老義)く布を詔の蓋御荒備 208

丁酉

冠冕
墨夜雨
張寒

100

卷之六

日本國際社會主義

外有土田豐茂二千八

ニアヲ視泰シテ

仁壽

卷六

日本金葉會編後

茶話會
三冊六冊

十二時半便通

予向委研平介騰桂之助、來在內版久寛、今ハ、

二竹所慮依賴入

朔八時村上伴碓夫人
午後五時半當根產子夫人
未產

今午入齋去未與合宜

〔襪〕 湯上りの襪可愛く這はしけり 南 石

南石

209 (三一治助)る贈を以一正に公攝 (五政安)す結縁を約俸商通と國英 (二一永繼)すなを討仇の父從主田淨

月六日 乙亥
日五十二

四時

寒暖

本日ハ急遽下リテ七十二度激変ナリ朝ノ内ハ小雨

朝八時起床十時朝食十二時快便

正千故今村裏六六七人、青々子男、子兩人、子伴に暇乞に
来ル、近々男、真橋成ノ、青渡子、赤子、赤名、轉宅スハヲ
以テナリ、子供、金、松、園ヲ其ノ、青々子ハ、銭別ハ、先、持

青々ヨリ
緑々ヨリ

千石四時半ニ葦会社ノ裁奪ニ助成ヲ得キ余ノ遺身ニ付
 託会品ヲ贈ラレタルニ葦社員八百七十八名ニ付スル株授状
 ノ系柄ヲ改メ印刷ノ上彙送方ヲ依頼ス其費用トシテ
 金百圓ヲテ文ス

四庫全書

夕顔の冷るるがさびしたをがれー
君はろにろと歸り行くととき
小林 要松

(八和昭)ちか開判公側軍陸件事五一・五(七七三治明)戦敵の横石大(四安慶)す殺自肅正井直(三平天)宇路人旅伴大 214

月六日 亥 乙
日 六 十 二

社會の中心

日雲晴

或能空役舍斗時

新

工業ホリヲブ理奉会
正午 新

新

昨日公儀之盡然リ矣暑ヲ感セスハ時表床十時
朝食十一時四十分輕便
午後零時半表坂氏来ル
今三時多田政一氏ヲ招致心臓ノ痛ニテ綜合（送平ノ提
唱ヲ襲キ併セテ於床ニマシ
今時折能リ遠方氏来リ合ヤタリ主合ノ上多田氏ノ談
ヲ聴セシムリ

ヲ 藤 巻 文 子

夕列爲村春碓ニリキ鉄耒ル海法氏ノ縁付キタル正午
病氣ヲ云ニ前ノ傷又窮迫ノ援助ヲ乞フモノナリ
不愉快ニ堪ヘス熟牙ノ上ニ手スルヲナス

不降快也地へ入

右川恒大神ノ堂ニ工珠ヨリ軒戴今相々京從前
ノ通リ并天竹李郎ノ子ニ召セシム

一、通リ并天何事師、奇、石也、

金
卯獎

自來

215 (六五八一) る生一、ヨシ・ドーサー、バ豪文英 (九治明) 通同道繼問阪京 (八一明文) るき殺利瀬道田太

晴

風 雲

天々清朗涼風時々至ル 添度ハ十三度

午前八時起床十時預會十二時便通アリ

朝十時半橋凍迄ハ貝舞ニ来ル面会

午向逢山菜板及奈田芥太二芥未茶

全三時半頃君塚賜大ハ未茶面会ス

本日庭園芝刈リナストヤハ二階ノ階ニリツ

イ落ナリテ庭園ヲ更スルヤ冬ナリ養生ノカメナリ

婦リ園ヤ交ヤトナカ

井上蓮五郎公昨日負千夫人ト共ニ若松ヨリ上京聖路

加病院ニ入院本日蒙ノ午折ヲ交ク返過ノ良好イラ

ンコヲ送ル

晴

風 雲

晴

風 雲

午前八時起床十時預會十二時半快便

午前十時半矢野上場ニ西田税公中スノ候移ニ来ル

吉祥寺車庫新築(夫ハ在来ノ名 補注)許可書(登

視ニ願)今朝田無雪ヨリ交付アリ

午四時半獨武田春雄公ヲ石神井ノ郊ニ訪振津島

山園江村公ヨリ贈ラレタル桃及バナシ否ハ相ヲ持テス

所乘車不在ナリヤ秋夜ノ方ニ迂回シテ帰ル

在名古屋ノ島村秀雄ハ小切牛ニテ金十圓ヲ送金ス

全人今日ハ如ク収支ノ均衡ヲ得ル者ニ方ニテハ家度

援助スルニ若クハ一家破綻ノ外ナシト考フ寒心ノ至リナリ

萬ト勘考ス様中送ル

晴

風 雲

九時半見本社

委任状送ル

國際文化會議委員會
李任叔送

日看氣強シ日中九十度以上ニ上ル
 午前八時起床十時朝食十一時半便通ノ際後十
 分間心氣不進アリ八日ヨリ遺精不盡
 本日於テ未容ナシ武田青腫成リ痔移ノ致未ル
 夜令座上リテ勉強

一覽に金本業打金會
工業クラブ 千石世附
振金井坂工方主権
新

午前八時起床十時粥食十二時快便アリ
 午後の時半志城氏見エ
 今世時頃北村太吉氏未在今村耆々々今道桑名、針ヶ
 夫ヨリ帰郷ス、午暇午、為メナリ干海共大罐ヲ贈リ
 毒美并天所ニ送リニ便京シテ辭去
 毒美夜半帰在、
 日盛りの三看さしあり、身を蒙る松の木、
 乃風の涼、サ、
 家行費乏給の外補給として毒美、五石園ヲ予交
 又、
 吉祥寺ノ井戸ホニフ自効ス井ノ取代、ナ為メ三長南半
 機械部、柏吉カ藏氏ノ刺未在

10

漢

青芝のふにひやもと序矢のさへはらへぬ子

夜合納原為屋上之瓦

大庭の夏なまめかし月の夜は
波浮の港に人影ぞ浮く
猪俣千代子

(八和昭)るき捕運め露の争航英反妻夫ザンガ (六八八一)す 死 ト ス リ・ツ ン ラ フ

220

七 曜									
日	月	火	水	金	土				
..	..	..	..	1	2	3			
4	5	6	7	8	9	10			
11	12	13	14	15	16	17			
18	19	20	21	22	23	24			
25	26	27	28	29	30	31			
..	..	..	..	..	..	..			

行事

一日 八郎（うしろ今に勝る）・冰川燦（武蔵）・林間及臨海學校同
る・千目詣（京都愛宕神社）・芝増上寺寶物藏千（約一ヶ月
に渡り許可）
三代 八代燦（聖後）

四日 北野天滿宮祭(山城)・八事
七日 建部神社納涼祭・成田紙張賣(下鶴)
九日 清水寺千日雪

精進院(大藏經院・皇寺千本願觀堂)・星下り(大藏中山寺)・慈會
(天王寺)・西鶴忌・安房寮(安房)

十五日 上旬 郡市對抗野球戰・各陣水泳大會
十二日 王子神社招祭(十三日迄)・庚申
癸巳祭(大塚)・葛飾祭(八潮)・白鷺祭(荒瀬)・八幡祭(東京)

芝・牛込市ヶ谷・練馬・鶴戸・深川・上大崎・尾久・題目路（京都穿
堀寺）

十六日 大文字火(京都如意丸)・三島祭(伊豆)・甲子
十八日 堀の内妙法寺千部命(杵久)・豊國祭(京都)・長田津社祭(京都)
十九日

十九日 愛宕山懸崖焚火(横濱)
中 旬 全國中等校野球大會・千住新橋・隅田公園花火大會
廿一日 住吉神社神國渡御・己巳

廿二日 新潟川開
廿三日 鎌倉總長寺開山忌(二十六日跡千紙發許可)・應太廳始政記念日
廿四日 二十六夜待

廿五日 藤島祭(諏訪)・太宰府祭(諏訪)・土佐祭(土佐)
廿六日 富士吉田口饗火大祭

○本月中專門學校入學檢定試驗施行さる ○土用浴衣服測定及び
書畫類の農干 ○下旬暴風被害の豫防 ○福岡點呼終了

衛生 才塾の集大成する大業は、江森邦の所記並に管内の
處の注意をなす。

の紋、蟠蟠、秋扇。花卉蓮、麝香、女郎花、紫苑、澤瀉、月

紅、朝顔、アスター、ヘリオトロープ、トリトマ。食品類、
鳥獸、鱉、蟹、蛤、鱒。紫蘇、茗荷子、新甘藷、枝豆、瓜、刀

豆、南瓜、冬瓜、麴筍。

遊線 矢野龍溪の『浮城物語』に於て、主人公の一人が、
根、日光、輕井澤、摩耶、六甲等遊覧。北條、片瀨、靜浦、濱
木、和文の諸侯の海水浴。其の風景を、思ふさま、雲外望二疊シ

て、大自然に親しみ、強健な肉體と、明朗な神經を養ふのはこの時である。王子神社祭。大宮水川祭見物。村には益隔り始

まり、寄には諸所に草相撲儀さる。東都芝漕のスケートリンクは東洋一、忙中の納涼に最も適す。

海の旅

湖の旅
十種田酒、田澤湖。

趣味 鮎原會。聯合せ。水遊び。晝寝。園芸。將棋。登山、

莖影など透り遊ぶ。栂、梨等果樹の花木。四季咲き類其他花卉類の手入れ。秋蒔草花及び小松菜、秋大根の播種。こち、さよ

り、かいつ等の釣り。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

戊庚

八 月 二 日

月七 日 亥 乙
日 四

晴

會全日

午前七時五分起床十時朝食十二時便所

午台斗時羊 賊部兵二部女侍更舞と来ル欠テラ
 寺箱持参

キ右五時、孚身、葉鵲、赴、世、有、入、竹、夷、敷、不、在、立、
 埴、有、七、全、様、下、一、時、三、竹、町、赴、セ、ト、セ、シ、モ、思、ハ、内、

二十一年天何本宅に立寄り八時品焼莊ス

出日モ日ナク十度止ハ雲洲ハアリテ雲々果シ夜今
 十時頃ヨリ驟雨雷鳴アリ炎着テ微ク心地不

武庫のいせまらず漢語はるかなり
怪しいまゝにも淫風を欺く
與謝野晶子

與諸野品子

223

(七治明)く赴に國濟通利保久大 (三文元)す寂貫丸島上人併 (四續文)す頼を養娘の私名大

月七閏亥乙
日

八 月 一 日

木
己

晴

日出	四時四十八分	月出	初六時二十分
日沒	六時四十六分	月沒	後七時三十二分

月出 六時二十分
月沒 七時三十二分

暑氣依然正午九十二度

午前八時起床、全十時朝食、十一時干極メテ軟便
眼目尖々看ルヲメ飲料多ク系分背膈ヲ害シタル

為又十

公時差坊勝六女未前新とヤ人并ヲ持参入（列）
分（百代へ）

金十時代へ

〔海月〕潮退し流るる海月さかしまに 牙

牙

(八和昭)も入に懸状時職の警演大空防東陸

(六治明) ふ属を暇休中餐に吏官てめ効

222

晴曇

晴	曇	雨	雪

午前八時起床十時朝食十二時休養
午後一時多田政一様より招致し於榮亭より明日
大政よりお茶を召し賜ふ（清水一様より治康の方様より
着後婦人お茶を召し賜ふ）トナル
午後六時退き三時登町トナル西屋敷より退き（着し

（清水）休むる山よりこの清水をな 御歩

晴曇

晴	曇	雨	雪

昨夜不寧口今曉四時夢見ノ為。睡メテ胃却ノ動悸ヲ
感ス指ノ数分平靜ノ後シ再度眠リノ氣クカシク腹コ
ワレノ氣傳リ八時半起床十時朝食十二時便所ノ際
懸念シタル心氣ノ不進アリ
便所ニ入ル先々天上武田郡女末所壽美面合便如シ
内多田政一様より清水秀夫（大政中相江野江氏）目
六八二番地（三号）今沃武人（神戶市灘区篠井町一〇五
銭道役所）小西家郎（西宮市宮田三十一番地）ヲ此
日多田氏ト仰ヒヨリ小坂血ハ未ル清水氏ノ指図ノ下治
療ヲ習得三人四時半解去
夜半添ヨリ暖房迄而降ル

古里につくし知しき娘を得ず
ひとり涙を流す。 海田政吉

時	分	時	分
11	50	11	50
本日午後五時著お下り 午前八時就床十時朝食十一時五十分便所 十二時一時三十分を時向昨日より通リ床合は寮ヨナス結果良 好ナルヲ言フ 左隣家へ庭手知事ヨリ茶井茶池使用許可証并々使用 料領収証を役所ヨリ交付ノ分ヲ送り来り候テ主替金並 石炭計座九石五斗五升ヲ以テ家庭手知事ヨリ郵送シ来 無償使用ノ状抄ヲナス 内務省官署事務并々令座七十一石五斗五升ヲ以テ贈物ノ状 抄ヲ送り別封シテ珠勝一管ヲ贈呈ス 夕刻成爲愛鳩ト識シタル傳書鳩一羽飛込来ル 幸別荘往來費トシテ番美手計ヨリ金三百圓ヲ入金ス			

時	分	時	分
11	50	11	50
午後七時四十分就床十時朝食十一時半冷ミシヤ リニテ西ミノ家取テ冷ヤシ全シテ冷ミニヤリニテ心肝部 ヲ冷ヤシ便所、浴、茶、排泄ヲ了シタリ 午後一時向三時一時向昨日教ヘラレル綜合手充 ノ治ニ療ヲ試ム 午後四時空所善雄公来庄 全三十分並々未了			

こゝへ来てゐるものと、別中、別なり
本、打つて、聞の、別中、別なり
天、い、ち、吉郎

（原本）
印乙

（原本）
印乙

（八和）は石部國華の歸六最武（七正大）を起一に聯山置職事價米（二保天）手銀九一會近十者電毛部

財治療：匠者山田匠此士ヲ推舉シテリ四時羊辞者

227 (八和) 洪利の年五校體に士博士附件事置置共 (五治明) 子爵海を門一十二歳外越島 (九和光) 子爵義長田勝

月 七 日 亥 乙
日 二 十

日期	页次	内容	页次

和會の全日

朝八時起床十時半朝食「二時半便通
中津女下痢母病危直リ婦レト飛報ラ接テ何

庭前にそよぐ萩にもおどろきて
胸乳のうごき透けるうすもの　金子薫園

テ冬末 綿師ノ用ニテサシメ 往返ノ 旅費トシテ金三匁
圖ラ共ッ奉人一時半又ハ三時 待合ニシ 綿師ニタル等ナリ

卒人不在中後富女ヲ配テテリセタリ

午後一時半より二時 大葉原

今三時武臣齊碑文未訪床誤於一時而三時尋也

乞長くと思ひをあらも八月越たつ秋風とこころ

風雨

巳丁

日誌	要記	日誌	要記	萬 冠
				日 記
				日 記

午前八時起床十時朝食十二時便通、除之數分

酒心氣元在于其具之

千石一時ヨリ大業療佐ヲナス

午食四時井上莫子未壯夫君達九部長金快西三日

中之院不日精製中服氣子益十更舞火火更

ムルナリ

立秋

立秋（節）
立秋の風はぬくはぬ玉花

社會の今日

日盛りに早き風呂焚きはじめけり 周 水

北海道工業振興会 全道（藤沢）官署 新	
午前八時起床、十時朝食、十二時決便 午後一時十分より大葉療法 全三時半 井上達五、命氏夫婦、全快婦、佐、秋、杉、来 明台日直行、婦、若、若、自、富、半、子、賤、可、台、ミ、送、 永田鐵山、少将、八、十、台、四、時、半、お、公、長、アリ、全、時、後 四位陸軍中將、昇進、不、全、成、リ、利、見、省、ハ、八、月、無、動 ニ、度、島、師、國、福、山、大、四、十、一、聯、隊、廿、三、日、台、所、歩、兵、大、一、聯 隊、作、ト、ナ、リ、名、仙、台、ミ、相、澤、三、郎、中、佐、ナ、リ、今、夕、参、 長、アリ、全、人、ハ、劍、道、四、段、ノ、座、人、ト、ミ、フ、好、マ、シ、カ、ラ、ザ、ル、人、相 ナ、リ、鐵、山、中、將、造、雅、ノ、節、未、宗、家、兵、隊、新、見、大、佐、其 室、ナ、リ、之、レ、ヲ、制、止、セ、ン、ト、レ、テ、夜、晚、上、勝、市、ノ、重、傷、ヲ、負、フ、全、治 近、三、周、間、コ、零、ス、ト、ナ、リ、 コ、ブ、ノ、ダ、イ、サ、ニ、孫、田、中、吾、義、目、下、海、軍、砲、術、學、校、水、兵、ト、シ テ、入、學、中、者、秋、ラ、シ、キ、萬、行、ノ、若、者、ナ、リ、今、終、休、中、明、後、日、婦 室、ス、ル、ハ、銭、別、ト、レ、テ、於、同、ナ、リ、興、ハ、洲、南、ス、ル、知、ア、リ	午前八時起床、十時朝食、十二時決便 午後一時十分より大葉療法 全三時半 井上達五、命氏夫婦、全快婦、佐、秋、杉、来 明台日直行、婦、若、若、自、富、半、子、賤、可、台、ミ、送、 永田鐵山、少将、八、十、台、四、時、半、お、公、長、アリ、全、時、後 四位陸軍中將、昇進、不、全、成、リ、利、見、省、ハ、八、月、無、動 ニ、度、島、師、國、福、山、大、四、十、一、聯、隊、廿、三、日、台、所、歩、兵、大、一、聯 隊、作、ト、ナ、リ、名、仙、台、ミ、相、澤、三、郎、中、佐、ナ、リ、今、夕、参、 長、アリ、全、人、ハ、劍、道、四、段、ノ、座、人、ト、ミ、フ、好、マ、シ、カ、ラ、ザ、ル、人、相 ナ、リ、鐵、山、中、將、造、雅、ノ、節、未、宗、家、兵、隊、新、見、大、佐、其 室、ナ、リ、之、レ、ヲ、制、止、セ、ン、ト、レ、テ、夜、晚、上、勝、市、ノ、重、傷、ヲ、負、フ、全、治 近、三、周、間、コ、零、ス、ト、ナ、リ、 コ、ブ、ノ、ダ、イ、サ、ニ、孫、田、中、吾、義、目、下、海、軍、砲、術、學、校、水、兵、ト、シ テ、入、學、中、者、秋、ラ、シ、キ、萬、行、ノ、若、者、ナ、リ、今、終、休、中、明、後、日、婦 室、ス、ル、ハ、銭、別、ト、レ、テ、於、同、ナ、リ、興、ハ、洲、南、ス、ル、知、ア、リ

降、了、雨、了、て、乃、は、さ、 の、た、い、キ、ル、で、庭、又、て 多、少、可、受、ハ、タ、者	
午前八時起床、十時朝食、十二時決便 午後一時十分より大葉療法 全三時半 井上達五、命氏夫婦、全快婦、佐、秋、杉、来 明台日直行、婦、若、若、自、富、半、子、賤、可、台、ミ、送、 永田鐵山、少将、八、十、台、四、時、半、お、公、長、アリ、全、時、後 四位陸軍中將、昇進、不、全、成、リ、利、見、省、ハ、八、月、無、動 ニ、度、島、師、國、福、山、大、四、十、一、聯、隊、廿、三、日、台、所、歩、兵、大、一、聯 隊、作、ト、ナ、リ、名、仙、台、ミ、相、澤、三、郎、中、佐、ナ、リ、今、夕、参、 長、アリ、全、人、ハ、劍、道、四、段、ノ、座、人、ト、ミ、フ、好、マ、シ、カ、ラ、ザ、ル、人、相 ナ、リ、鐵、山、中、將、造、雅、ノ、節、未、宗、家、兵、隊、新、見、大、佐、其 室、ナ、リ、之、レ、ヲ、制、止、セ、ン、ト、レ、テ、夜、晚、上、勝、市、ノ、重、傷、ヲ、負、フ、全、治 近、三、周、間、コ、零、ス、ト、ナ、リ、 コ、ブ、ノ、ダ、イ、サ、ニ、孫、田、中、吾、義、目、下、海、軍、砲、術、學、校、水、兵、ト、シ テ、入、學、中、者、秋、ラ、シ、キ、萬、行、ノ、若、者、ナ、リ、今、終、休、中、明、後、日、婦 室、ス、ル、ハ、銭、別、ト、レ、テ、於、同、ナ、リ、興、ハ、洲、南、ス、ル、知、ア、リ	午前八時起床、十時朝食、十二時決便 午後一時十分より大葉療法 全三時半 井上達五、命氏夫婦、全快婦、佐、秋、杉、来 明台日直行、婦、若、若、自、富、半、子、賤、可、台、ミ、送、 永田鐵山、少将、八、十、台、四、時、半、お、公、長、アリ、全、時、後 四位陸軍中將、昇進、不、全、成、リ、利、見、省、ハ、八、月、無、動 ニ、度、島、師、國、福、山、大、四、十、一、聯、隊、廿、三、日、台、所、歩、兵、大、一、聯 隊、作、ト、ナ、リ、名、仙、台、ミ、相、澤、三、郎、中、佐、ナ、リ、今、夕、参、 長、アリ、全、人、ハ、劍、道、四、段、ノ、座、人、ト、ミ、フ、好、マ、シ、カ、ラ、ザ、ル、人、相 ナ、リ、鐵、山、中、將、造、雅、ノ、節、未、宗、家、兵、隊、新、見、大、佐、其 室、ナ、リ、之、レ、ヲ、制、止、セ、ン、ト、レ、テ、夜、晚、上、勝、市、ノ、重、傷、ヲ、負、フ、全、治 近、三、周、間、コ、零、ス、ト、ナ、リ、 コ、ブ、ノ、ダ、イ、サ、ニ、孫、田、中、吾、義、目、下、海、軍、砲、術、學、校、水、兵、ト、シ テ、入、學、中、者、秋、ラ、シ、キ、萬、行、ノ、若、者、ナ、リ、今、終、休、中、明、後、日、婦 室、ス、ル、ハ、銭、別、ト、レ、テ、於、同、ナ、リ、興、ハ、洲、南、ス、ル、知、ア、リ

晴

集業ハ夜喃金
磨紋キ外二五ハ
二五七キ

連日ノ而正キ頃ヨリ晴トナリ氣温七十七度ニ至リ
七十六度ニ下リタリ
午前八時起床十時朝食十二時便通
午前一時ヨリオトナリ大業寮内、午頃次第ニ
午後四時直夜來於
網屋ヨリ預リル來國後、合口老津家敷録、短
ノ二口井、小道貝ハ後夜康業作(三拾四)全先赤凡
(拾五田馬)一長作(拾五田馬)一長作(拾五田馬)一長作
トシ純金毫、目母又二時、鐸三枚小柄二巨(船由)一
作及川金井作)ヲ返却セシムトス

月七閏亥乙
日七十月八

晴

晴

氣温回復午前八十二度ニ下リタリ
午前八時起床十時朝食十二時便通
午前一時ヨリオトナリ大業寮内
公三時松村達太郎女果所授合意成、ノナリ知
アリト書ス矣夫又ト談合善所セシムトス
牛込屋内、商業學校村菜ニ付特別寄附、冀望老万
國ト云フ、席レ区役所庶務課長片岡輝一氏ニ面
電話返答セシム
再々未訪ヲ謝シ、自分文致、ナリハ御主美立
決アリ現在示蓮寺ノ方法ハ果中毒異致奴主ノ弊
ニ而テ居ハト思フノテハカラ午三時内ニ商業學校新
川菜、ナリモホ夕六時カニ積立金ヲ長スル、能ハス臨テ翌日
此志ノ特別寄附金、席レハ美當リニ應諾ノ步返奉
ハ致シ生ナリマス云々
今夜井ノ頭及豊島屋ニ花火アリ生ナリテ観之

月七閏亥乙
日七十月八

〔禮月〕
卯丁

日九十月八

月七甲五乙
日一十一二

晴

晴

本日天気澄日中八十三度

午前八時起床十時朝食十二時便通

午後一時十五分ヨリ初一時間大葉療院

今朝係女下ノ陣ヨリ婦余頂ノ吉祥子ニ来ル

小坂庫ニ茂男一節明年三月に立寄一高松市平葉後

三菱銀行勤勞志望ノ者全行取締役ヲ山葉痛

及高木健吉西氏宛ニ書面ヲ送メ一節ヨリテ持犬セ

シムハトス

中央徐南士見歸去来莊庭中ノ小川手吉氏ヨリ

全氏若重道謝道ト白三函成始去冊ヲ贈フル

〔禮月〕
卯丁

〔禮月〕
卯丁

晴

晴

東京鋼鉄会社臨時

株会委任状送付

付一併

日産折株払込期日

朝来晴天天気澄ハサセハ度ニ

午前八時起床十時朝食十二時便通陰シ九分間ハ

天気佳アリ大葉療院ノ期待ニ交シ不愉快ナリ

午後一時半ヨリ大葉療院

全四時食後文太氏来莊拜見テ面会セシム

火を焚きて雨を止むるをけり
今日も見ゆるなり山の頂に
阿部 晴雨

〔西〕 西風烈なるを一つは風り故の外
阿部 生

〔禮月〕
辰戌

日十二月八

月七甲五乙
日一十一二

晴

晴

東京鋼鉄会社臨時

株会委任状送付

付一併

日産折株払込期日

朝来晴天天気澄ハサセハ度ニ

午前八時起床十時朝食十二時便通陰シ九分間ハ

天気佳アリ大葉療院ノ期待ニ交シ不愉快ナリ

午後一時半ヨリ大葉療院

全四時食後文太氏来莊拜見テ面会セシム

白雲	雲	白雲	雲	晴天	晴天
				雲	雲

王會の今

午前八時起床十時開食十二時便通、除儀々九
分間、勤勞アリ
午後一時半多田女来ル依テ一昨日来ノ往過ヲ告ケ
座談、廿二多田順序ヲ変更シ省略ヲナス
又箱根、社長、挨拶状ヲ送ス
夜分就牀前腎臟部背脊南天施治一時間、而

夕暮のボプラ並木の明石町
君と歩めは夫のしかりけり
明田川區子

晴	天	法	記
---	---	---	---

王命金匱

朝ノ氣逆ニハ十三度アリ正午ニハ十六七度ニ上タルト
ト云フ
午前八時迄床十時朝合ハ十二時使通シ豫ニ復心氣
ヲ進アリ其間六分依テ本日大寒ノ候法ノ所ナリ見
合セ明日多田成ヲ仰フルトス
トヤ微熱ノ為メ此夕年天行ニカヘリ加養良中今朝
ヨリ料理人貴夫文四ノ子ヲ招ク
箱根方ノ別御年滞在ナリ社長ヨリ午作りノアス
ハウカス一箱ヲ贈ラル

花よく披露けく咲いて眞白なる 泰石

晴天

暖寒

本日皆晴

午前八時起床十時朝食十二時無事便通
十一時三十分頃伯三面温冷巻法ヲ行フ外ハ肺温冷
二面午而足部温冷肝臓温蒸ヲ行フ
午後三時在素齊氏山北工場ヨリ貝舞来リ(酒白川
ノ箱四十五此ヲ贈ラレ面会ス
小川御木市氏ヨリ岡山水蜜桃一函ヲ贈ル
午後五時在素齊氏未行
山瀬幸格ト土俵ヨリ七京年子ナリ石肉
夜分雨天泥ヲ行フ

(註) 朝に海が雨降の日としかた 秋 徳

重宝
木辛

晴天

暖寒

本日ハ晴美ノ社生日ナリ赤飯ニ頭片肴(昨日
在成ヨリ贈ラレタル酒白川ノ箱)ヲ俵偏人二司ニ振
舞フ

(註) 朝に海が雨降の日としかた 秋 徳

午前八時起床十時朝食十二時半便通
六分間ハ心臓温冷法ヲ行フ余ヨリハ寧日家内ニ夫望
温冷巻法ハ心臓温冷法前日通り
山瀬幸格母子未莊種ヤ土産ヲ持来テ晚餐
ヲ飲食シ弄天何ニ知ラレム
夜分雨天泥ヲ行フ
山瀬幸格、旅費其他共々金百圓ヲ贈共ス

風 雲
雨 澤
日 良

陰	陽	陰	陽

録事の全

(七七一) 録事の全の記しをみけり 陽 録

朔未晴曇常ナリ午前縣雨ナリ
午前八時迄床十時朝食十二時無事排便
午向を時三ノ部交互温冷ノ座ノ傍及肝臓温蒸
例之通
午向三時上村金店代現金金ナリ五百圓及東京銀行
新株三百銀行保復預金ナリ村入ノ壽天冬冬
日産新株四百ノ料止支取金ナリ河印ノ依銀行
保復預金ナリ依頼ノ新株春川替ヘテ代行セシム
松村達太郎代未訪夫村工場ノ開スル報告ナリ
上村代ト公平辭去
十代ナリ七ノ助俵々山時頃青山ヨリ来ル
山瀬幸祐明日ニ向御国ノ甘子供ト共ニ暇乞
来ル賊襲食右十代ナリ事ト公衆井天何ノ帰ル
夜分南天池ヲ買賤部ニ張ル

風 雲
雨 澤
日 良

陰	陽	陰	陽

録事の全

(八二八一) 録事の全の記しをみけり 陽 録

朔未雷雨九州四国西南部、肥前上段日白雲後難
ラ(座ナリ)来ニ直落ナリ
数日前ヨリ市内ノ浸込セルヘ三ノ百ノ名 肥前上段日白雲後難
今朝未ノ驟雨ニテ下火ナリタルガ如シ
午前八時迄床十時朝食十二時無事排便
午向を時三ノ部交互温冷ノ座ノ傍及肝臓温蒸
例之通
午向三時上村金店代現金金ナリ五百圓及東京銀行
新株三百銀行保復預金ナリ村入ノ壽天冬冬
日産新株四百ノ料止支取金ナリ河印ノ依銀行
保復預金ナリ依頼ノ新株春川替ヘテ代行セシム
松村達太郎代未訪夫村工場ノ開スル報告ナリ
上村代ト公平辭去
十代ナリ七ノ助俵々山時頃青山ヨリ来ル
山瀬幸祐明日ニ向御国ノ甘子供ト共ニ暇乞
来ル賊襲食右十代ナリ事ト公衆井天何ノ帰ル
夜分南天池ヲ買賤部ニ張ル

(八二八一) 録事の全の記しをみけり 陽 録

晴
 綱生ヨリ持来ニレル
 請交新戸外柝付
 相模守政常ノ小刀
 目貫莫三石銀額一疋
 小柄五個ノ小瓶一枚
 ナル持来ス
 三石ノ上打金に成章上
 葉部者百七枚五内ノ
 餘收貯ナリ明日ナ
 ナリ 振込ニレバトオ

今朝晴天午右曇リ夕晴レ其孰レ
午前八時迄床ナリ朝食ナリ二時後々ニ至ラントテ坐
原ノ坪入リ為メ枕川ニ降レ三四分間ハ氣元進テ感ニス
治マリテ互ニ便々ト坐リ毎十排迄
子右一時半肝職ニ南天北ヲ改リベリセルヲ行フ
テ右三時奈田宮太郎夫人ヨリノ使及小林利助成外二人
未仕
又井スノツルニミテ外莊中ノ今年義皇帝レオホシド三屯
ノ皇位不トリド陛下皇帝様綏ノ自勤平ノ御路衛ニ
繼レ願路頭部ヲ打ナリ那死セラルタリ皇帝ハ輕傷昨
午矢帝陛下ノ御道難ニ次々今又此御不意ヲナリ自國
ノ中々メハ痛恨ノ至リナリ明日久楚々ニ依頼大使綏ニ
表憐ノ意ヲ表スルトス
新刀精光磨直レ代ニハ門ト小柄三個代(三〇・五・五)計六拾
ヲ合セテハ八拾八門又柄ヲメハ百四拾年天ノ井ナリナリ

[illegible]

上陸ニテ来々地ニ進ミ平信山岳部ニテ合戦勢カヲ削
 カレタリ太平洋ニ向テ去レリ其影御音ヲ聞ケ来宗方
 面一團宜敷而強爪アリ日暮ニ至リテ止ム
 午前八時衆床十時朝食十二時を奉テ排便
 午後一時肉をベツセルヲ行フ肝臓還其ハ本日見合セ
 たり
 大日本道徳心普及会々々牧坂内文次郎氏ヨリ余ヲ全會
 顧問ニ推薦シ来ル即日之レヲ謝リ推薦状ヲ返送ス
 夜合南大坂ヲ行フ

琴瑟

陳	張	陳	張

自今迄は、
十町、
（日誌）日傾肌爪能く白く成るべし。

及テ前ハ不
釣リ八年の
終、即命を

(一一九一) 戦ーリボリト土伊 (一二八一) る生ツルホムルへ善薬理物 254

尾花 二百十日も無事にすんで、秋雨にかりである。萩や、桔梗や女郎花が繪よりも美し、銀色に光つて、その涯に沈みゆく夕日に眞赤たは寒らしいテノールを歌つて行く。しんとした聲が鳴つて、演習の兵が突貫して行く。木の葉

前のかぎり、暗れた日、野の秋は、その頃は盛
 る、晴よりも風情がある。芒は穂に田、なびく尾花は
 林には果の實がふたて落ち、草の實がふみのり、小鳥
 かな空氣の中を空が揺れる、風がとどく。突然、銃
 落ちる。百舌鳥なきと鳴いてゆく。

〔附記〕

季寄 時金 昇 結城、前渡、各月、第一、奥羽、秋の町、
 佐野、山田、秋の川、海、秋の山、秋の湖、池、
 花、木、草、花、秋の川、海、秋の山、秋の湖、池、
 花、木、草、花、秋の川、海、秋の山、秋の湖、池、

生 食 糧 料 等 冬 以 一 週 食 料 家 中 秋 季 奉 養 法 行 々

高 冠
量 天
記

終日曇天、氣温七十二度、夜に入りて雨。
午前八時、起床、十時、朝食、十二時、午後排便。
午後一時、半日、全様、綜合、療法ヲ行フ。
廣田、理太郎、氏、死ス。軟、傍に、香典、大、武、於、町、ヲ、信
リ、五日、忌、葬、ノ、當日、久、野、氏、代、理、會、葬、ノ、丁、上、村、氏
ミ、ト、メ、シ、廣、田、氏、ハ、永、リ、南、田、南、會、謁、メ、現、在、百、本、針、等、未、改、
テ、右、五、時、半、迄、及、氏、未、改、
夜、分、背、膝、帶、ト、南、天、泥、ヲ、改、ル

（朝）會の由

酒のめは、地のごく上に、明かりし、
大いなる、願、よ、かなしき、願、よ
石川、楓、木

（朝）會の由

（朝）會の由、いち早く、新置、落、ケル、竹、床、几、高、太、郎

午前八時、起床、午後、細、雨、氣、温、七十七度。
午前八時、起床、十時、朝食、十二時、午後排便。
林、鉄、十、郎、座、相、辞、表、授、女、役、仕、ト、平、次、珍、氏、川、島
義、三、大、將、推、薦、シ、タ、リ、ト、東、村、ノ、軟、外、ア、リ
三、我、事、宿、麻、生、城、大、氏、死、ス、六、日、忌、葬、ノ、軟、ア、リ、全
斗、於、町、香、典、大、ト、シ、テ、葬、リ、書、生、宮、島、ヲ、會、葬、セ、ル
ト、ス

高 冠
量 天
記

長
銀
行
保
会

本任伏込ル

廣田理太郎氏等

式十時二十分
上戸山并場
久松氏代理

〔附〕
會
同

午前八時、床十時、相食十一時排便、除し、
ノベエ、進アリ、六日目ナリ

朝十時、高山、改辛、女、貝、舞、未ル、ス、ア、寺、瓶、及、未、磨

ノ、箱、肉、老、箱、ヲ、贈、ラ、ル、素、美、面、会

全十時、四分、西村、未亡人、未庄、十二時、過、辞、去

午後三時、長、銀、行、欠、式、名、天、期、朝、告、書、寄、宣、役

登、記、本、任、代、リ、酒、中、ヲ、ホ、ル、ハ、未、庄

午後一時、羊、ベリ、モ、ル、ヲ、行、フ

全、計、野、羊、十、八、十、未、庄、五、時、過、上、戸、山、輕、井、氏、ミ、リ、停、子

ノ、又、帳、云、此、一、力、辞、去

昭和八年、北海道、川、水、害、ハ、竹、義、楠、金、五、百、円、ト、對、ス、ル、迄

難、民、救、済、ニ、長、勢、秋、交、付、アリ

夜、分、野、跡、南、天、池、ヲ、行、フ

〔附〕
會
同

長
銀
行
保
会

本任伏込ル

〔附〕
會
同

午前八時、床十時、相食十一時、羊、老、未、庄、排、便

午前十時、羊、大、崎、新、太、郎、氏、舞、ハ、未、庄、ジ、ス、ハ、ト

寺、箱、持、来、リ

午前一時、羊、ベリ、モ、ル、ヲ、行、フ

午後三時、長、銀、行、会、長、頼、下、清、氏、貝、舞、秀、氏、目

ノ、銀、行、保、会、ノ、模、樣、朝、告、書、未、庄、全、時、ノ、賞、典、金

共、十、圓、ハ、小、牛、ヲ、持、来、ス、領、収、証、ト、共、ニ、送、小、切、手、ノ、銀、行

全、在、ニ、振、込、ヲ、依、頼、ス

全、銀、行、郵、金、共、十、百、五、圓、四、角、ヲ、領、収、証、并、入、銀、行

持、別、寄、付、振、込、方、ヲ、上、村、右、依、頼、ノ、午、式、ヲ、小、座、

交、付、ス

星晴

久に振てテ午右ヨリ晴天トナレリ奎美大島西島ノ間ヲ
通過シテアル飛爪ハ北々西ニ進ミ支那海ニ出テ名月如
シ之レヒテ二百廿日ハチノ辭ヤランカ

午前八時起床十時朝食十二時畢分至奉排便

午前一時半空也

奉日乞之助。誕生日、竹、赤飯、于、貴山、福井、方、三、贈、ル、不、信。

四時庚午代十六之助ヲツレ
 五ホヤト共ニ未莊賊餐

夜九時頃青山歸

三女製衣，衣買菜，咸女支付工錢。并：湖州同。

天林レ竹ノ碩ノ村ノ登ノ三ノ部ノ女ノ卜ノ契ノ竹ノ件ノ欽ノ安ノ為ノ未ノ在ノ

夜令賢昧即朝天派之行

全集全一〇

眞砂なす敷なき星のそのなかに
吾に向ひて光る星あり

正岡子規

(八和昭)く衛割子一レダ・ド一ワドエ人恩の交外國英(二和昭)寿公令行施法士理計(元治建)る朝に倉録を著使の元 260

星晴

久に振てテ午右ヨリ晴天トナレリ奎美大島西島ノ間ヲ
通過シテアル飛爪ハ北々西ニ進ミ支那海ニ出テ名月如
シ之レヒテ二百廿日ハチノ辭ヤランカ

午前八時起床十時朝食十二時畢分至奉排便

午前一時半空也

奉日乞之助。誕生日、竹、赤飯、于、貴山、福井、方、三、贈、ル、不、信。

四時庚午代十六之助ヲツレ
 五ホヤト共ニ未莊賊餐

夜九時頃青山歸

三女製衣，衣買菜，咸女支付工錢。并：湖州同。

天林レ竹ノ碩ノ村ノ登ノ三ノ部ノ女ノ卜ノ契ノ竹ノ件ノ欽ノ安ノ為ノ未ノ在ノ

夜令賢昧即朝天派之行

全集全一〇

眞砂なす敷なき星のそのなかに
吾に向ひて光る星あり

正岡子規

(八和昭)く衛割子一レダ・ド一ワドエ人恩の交外國英(二和昭)寿公令行施法士理計(元治建)る朝に倉録を著使の元 260

中長ノ親

シモハ余金に余ハ及前々其口ヲ塞グ(塞グニシタルモ)時々相合

レテ親父交差ヲ受ケ

書

中表

大聖人政記

— 4 — *Journal of the American Statistical Association*, Vol. 100, No. 471, 2005

晴天

卯朔床次、ナタタ後天村ノ片越王殿に格ス
散居セシ村ノ木葉ヲヤミテ去リて、又セ從兄七全ノ日ヲ祈ル

朝七時起床九時半朝会十時半を事非便

日本園陸軍会談会
全集合所十時三十分

内閣主班ノ希望ニ違フ
連セス床次ニ遊シ

思ふ事遂リテハヤ
一ノ夜ハ心残リ

保つてゐるか

千里ノ一驥ニモ
一ノ今朝ハ路

給ス全人十時半品類往

若神井武田義雄公ヨリ不産メロシニ宛テ贈ル返礼ニ甘案

本日午後時頃ヨリ酒井清彦侯爵ニ休暇ヲ興ヘ小遣錢五円ヲ
給ス全人十時半品類往
若神井武田義雄公ヨリ不産メロシニ宛テ贈ル返礼ニ甘案
カホキヤ一個トトマトウ黄赤二個ヲ使
午後時頃迄ナゲナキ未レ江奈リ自次更ニ永眠ニ近ツクダク
全時時空為成未レ
全時半由間典夫未レ来重珠奈部ノ件ナリ今村死云
ノ知ラセテ引ラ送ラム五時半ナゲナキ全来ニテ歸ル
全五時半十分ニ好室道成未レ山地上依太却申出テ松田文相
ニ用ス件ナリ
本日午後時頃ヨリ酒井清彦侯爵ニ休暇ヲ興ヘ小遣錢五円ヲ
給ス全人十時半品類往
若神井武田義雄公ヨリ不産メロシニ宛テ贈ル返礼ニ甘案
カホキヤ一個トトマトウ黄赤二個ヲ使

大内上院會合共事
本后ニ至リ
全園陸軍会談会
連セス床次ニ遊シ
思ふ事遂リテハヤ
一ノ夜ハ心残リ
保つてゐるか
千里ノ一驥ニモ
一ノ今朝ハ路

本日午後時頃ヨリ酒井清彦侯爵ニ休暇ヲ興ヘ小遣錢五円ヲ
給ス全人十時半品類往
若神井武田義雄公ヨリ不産メロシニ宛テ贈ル返礼ニ甘案
カホキヤ一個トトマトウ黄赤二個ヲ使
午後時頃迄ナゲナキ未レ江奈リ自次更ニ永眠ニ近ツクダク
全時時空為成未レ
全時半由間典夫未レ来重珠奈部ノ件ナリ今村死云
ノ知ラセテ引ラ送ラム五時半ナゲナキ全来ニテ歸ル
全五時半十分ニ好室道成未レ山地上依太却申出テ松田文相
ニ用ス件ナリ
本日午後時頃ヨリ酒井清彦侯爵ニ休暇ヲ興ヘ小遣錢五円ヲ
給ス全人十時半品類往
若神井武田義雄公ヨリ不産メロシニ宛テ贈ル返礼ニ甘案
カホキヤ一個トトマトウ黄赤二個ヲ使

無本
寶慶

雨

床次迎相養儀
青山青瑠告別式
二時一三時
久楚成代理合葬

朝曇天夕利ヨリ雨気強七十一度、下ル
朝八時義床十時朝食十一時半無事排便
今朝午前九時飯江系素六夫人ぬい刀自八十五歳、
百年ヲ以テ衣逝ス 明後日三墓葬ノ旨
午向一時ウエセルヲ行フ
右四時半 壽美江系方、悔ミ、夜十時還歸
庄
吳澄藩、或テ壽美及典夫必有ノ来垂セメント株ノ
件、有返給ヲ以テ浅野セメント会社、一株六円増シテ賣
却シ依頼ス
小岩井廣成瑠瑞在中ノ老婦久病男死全終佳蟠枕守
贈、族妙杖ヲ送ス
久系満子夫人来訪活タル節七尾ヲ持来ス壽美不
在トナシ余、セリヲ待タス美キテ辞ス

本八十九の官報何公同家海件五一五
みんを説くもて、秋田の國

無本
寶慶

日量

黄友俱永部(在りし)
六階北側(二階)会
黄部会(上)会

朝来至曇天夜ハ入り下モ雲雲變始、月先ヲ見ス
午前八時起床十時朝食十一時半七半 排便
午向一時ウエセルヲ行フ
全四時五十分島村金治、即夫人来訪壽美面会
全五時四十分壽美ト共ニ酒井看養婦及貴志文三郎
ヲ伴ヒ觀月ヲ使俾セントシ山口野水池ニ是ク雲拿
ク遊、明月ヲ賞スルヲ不得七時四十分歸庄
明月ヤ二百廿日乃 針合セ凡もかけきも月也
だんか
本日海淵庄馬川上俊六、西谷ノ計ヲタリ富井先生
愈重俾水送竹松(或)花鶴ト夕刻、見ユ竹松ハ水若
六部氏ノ一留水若ハ室子ノ美更ナリ
望月正介氏通信大臣ノ親任セシ
ゆきらのし月の夜がたに又(りり)雲云云
沈きし光あかりも(夜十時半迄)

乙亥 閏八月 十一日

[illegible]

朝曇天一時而午位三リ次差々晴
 午前八時起床十時半朝食十一時半無事快適リ
 午位一時バクセルヲ行ハ
 今三時半羊子代ヲ宅ニ弗ト共ニ来ル晚餐食ヲ共ニ青山
 此朝亦天晴ヨリ昨日烟屋ヨリ金ケ来リタル金葉光テ寸
 色給赤銅葉石公浪良輝（所出付百円）於親四分一
 半雞小柄（五松円）山崎一賀ス裏哺金小習小柄（四
 松五圓）成壽四分（水梅小柄）（四松円）春明紅銅蝶縁
 發一組（五松五圓）ヲ持来
 前記ノ五五ニ之レヲ引交リルヲトシ讀リ道々橋付志先
 ノ△口（五松円）（四松円）ト申来リタルニハ之レヲ烟屋ニ返却
 せしめルヲトス

火 山 內

海軍聯合會支那
又人支日比谷公會
高木正二
日平正濟聯盟會支
某德會支正四時
前井男爵葬儀
告別式青山斎場
二時三十分
久松代作
供養

午前八時起床十時朝食十一時羊を奉快通
 午前一時ベリこころ行フ、夜分南天池
 全一時羊二村成ヨリ使ヲ以テ壽英名成未重セメ
 ント株四百株銀行保護額ノ合内床ヲ変ゲ以リ
 夫ル全使用済一保護額ニ迄セヨ床ヤリ
 幸味着歌達証明ハ包ヲ以テ未重・清水・北太郎
 成・成・合達スハトシ其ノ後改委任成全封需
 面ニ全成ニ業ヤス四夫介ハ神ノ養費銀行支店ニ
 リ村成スリント半添ヘタリ
 全斗時羊共夫未ル神ノ銀行支店保護額リ正
 ヲ渡シ未重セント株四百株成未重・清水・成方々
 村成・代金領収其セノ件ヲ全支店成ニ依頼セム
 全三時羊ニ谷川百太郎成未坊
 谷川ヨリ朔料製純すし春千担給ノ額ヲ尋未ル

月八日 亥乙
日 三 十 二

陰	陽	陰	陽
未 信 新	未 洋 三 新	國 除 合 新	大 使 廿 日 會 在 西 本 盛 幹 丰 中 川 繁 丑 多 度 荒 城 新
文 博 會	杯 摩 馬 男 幹 丰		
新	新		

（要）
此の文字を解りぬらう。計一

（要）
此の文字を解りぬらう。計一

竹格眼目、秋晴し。今日ハ樓上トナリ
午前八時起床十時半朝食十二時半七半排便
午後一時バツル夜太陽甚厳寒ヲ行フ
今三時重焙石碓二郵便川司又店、軒下ニ女夫婦全伴
挨拶来リ
夜十一時入浴
秋雨
昨不意チ累山子たはるまゝ秋雨にまじりけり
即口下、冬花もあし

月八閏亥乙 日社日 九十 月九 弦下(墨木

竹内兄弟ト河瀬格代(赤太市妹)下結僧拔露水交社午右五時半折
晴 濃 須 家
旧友会紅葉銀忘座 折
元業疎漏会華族
会叙午右五時 折
聊産聯合会井内達三
(使用者代表顧問)
急行縣議會
午右四時 折
海軍聯合評議會
午右四時半英社
折

相ハ時部床十時朝会(十一時半)排便ノ際奮懽ア
リ約五合ニテ大サマル 廿五夜
午右一時半バリエラ行フ太陽 裏ニ冷モ全時、
大入保直男(豊島区池袋三十目一二七三)ハ知若入院治
療費トシテ金共百圓借用申ヤアリタルモ貸借ハ交生カ
サルニ裁テテラ申送リ其証書ヲ返却シ全時、又舞金
百圓ヲ贈興ス又四番区永住所一花上女由未栖貞子
自ノ公情者ト称ス牧師村田正夫氏ニ対シハ未栖家
ニ何等因縁ナキモ名義ニ若親ニ全情ニ且テ一兩度出前
シタルヲアルヲ此女限リトシテ 金共松岡亦目下東京
義育院入院中ノ田島正志廣見篤ミ綿々旅費トシ
テ金共拾圓夫々郵便力カ登取組書面ニテ送付ンダリ
午右五時半中工好店ノ小林利助氏并天町便次改道
ノ件トテ打合せ来ル

書きなめ前記にわたることを
みえたいのでした。この
日記は、
昭和十一年

昌豊

昌豊

紋木村清四郎成二周

辰ノ通夜、付前中夜

祖代ノ中夜

末宗合領在府中

紙銀

愛育会扶道会三

時賣内河金銀

断

南州難所近、アリタル小低ノハ、散シタルモ、四国九州ノ南

ノ、難所ハ其何レノ方面ニ上陸スルヤ確カナラズ、炭ノ前

ノ、床ニテ終日曇天ナリ、夜ノ入りテ、雨

朝ハ時、夜床十時、開食十一時、羊を奉送候

命を時、ベルヲ行フ

午後三時頃、正穴来ル、全五時、並テ、六十至、助業ヤト

共ニ来ル、夜更食ヲ共ニシ、九時、并テ、天所ノ、婦ル、一、同明日

午後一時、羊ノ、櫻ニ、テ、セ、主婦、婦ノ、若

夜分、腎臓、面、天、泥ヲ、行フ

昌豊

昌豊

昌豊

昌豊

強而

今、腹中、前、三時頃、地震アリ、昨夕、四国、至テ、山、山、ツヤ

タル、腹中、今、朝、紀、淡、海、映、ヨリ、管内ヲ、席巻シ、テ、北、来

ミ、進、ミ、カ、カ、如、シ、果、然、方、面、ハ、其、余、改、テ、ウ、テ、川、喜、ハ、ヤ、モ

終日、小、止、ミ、テ、ク、強、而、アリ

朝ハ、時、近、夜、十時、羊、開食、十一時、五十合、並、奉、排、候

正穴、行、湯、主、ノ、面、午、右、一時、羊、出、祭、婦、神

小、石、川、難、壯、丹、鋪、ミ、リ、昨日、来、報、リ、タル、ノ、劍、附、屬、小、石、貝

ノ、内、金、銀、敷、錢、鐔、鐔、額、組、(二〇四)正、則、作、赤、銅、七、十、虎

金、銀、敷、鐔、額、組、(五、四)柱、案、作、色、金、錢、目、母、貝、(一、五、四)

二、案、作、赤、銅、七、十、虎、花、車、目、母、貝、(一、五、四)運、業、作、金、銀、鐔、額

中、夜、(一、五、四)文、案、作、赤、銅、七、十、虎、仙、人、案、在、目、母、貝、(一、〇、四)横

言、英、精、作、四、分、一、虎、目、母、貝、(組、六、四)ノ、七、七、(止、メ、余、ヲ、返、却

ス、(廿、五、日、金、九、九、米、四、ノ、取、平、難、壯、丹、(支、了、テ)

夜、八、時、先、之、九、時、中、半、八、件、ノ、ラ、テ、オ、ヲ、獲、ク

大、久、保、直、胃、村、田、正、亮、田、島、正、志、三、代、ヨ、リ、夫、々、礼、状、来、ル

東京リブ、松平武
者小落而大使、元千
驛日大使招待談餐
会午後七時半断
北遊談話会才一怒
談会王世未リブ、千右
五時 断
入会美話
日本経済十時
山下サロ招待瑞幸
合

開會之由

部代不敏行や中々人、持き、飯は方チ依頼ス
若三時上村金屋成三月合、給料ヲ持来ス其席ニ毒美東亜味受
昨相連ハ江淡海決ヲ電通、形勢ヲ示シ名、船凡ハ受ニ方也
ヲ遠目形、打シテ日、向難、入り目、向大分方面ヲ流シテ次
岸ニ其勢ヲ減シ鮮城、スルニ至リ昨日東京方面、其勢
而ハ浮シ其余波トムフミリハ寧、口直傷南海、林、其、タ
ル、俗、一、添、回、ス、ル、モ、如、シ、朝、未、雲、金、一、印、タ、ル、モ、
虚、虚、馬、ク、昨、夜、六、六、度、ノ、モ、正、午、ハ、ハ、十、度、ニ、リ、其、
著、リ、甚、ハ、難、シ、時、々、而、降、ル
朝八時起床十時朝食十一時半無事排便
大阪談話会セント支店ヨリ青美未亜四百株代金ヲ取
四百圓也天一旅行北小知チラハテ送金シ来ル
全時来重取席後清水純太郎、タリ、若、茶、内、共、此、大
介、者、百、式、九、百、米、林、外、内、ハ、神、ヲ、三、要、銀、行、支、店、負、客、所、王
成、成、交、付、シ、ス、ル、而、通、知、アリ、又、方、ヲ、付、シ、銀、収、帳、抄、ト、ス、
其、際、諸、君、モ、モ、休、校、状、ヲ、ス、
竹中、小林、利、助、公、年、天、何、便、冬、夏、受、ノ、見、横、希、ヲ、持、来、
伯、幸、千、世、百、圓、也

本日は別荘に在りて午後四時、
既、午、の、時、に、別、荘、に、在、り、て、
既、午、の、時、に、別、荘、に、在、り、て、

時
七時
有知石室ハ防窓ノ
社司大井一夜今ミリ
来月廿日頃、冬千、
を表ト云、旅、砂、ミ、
ル、来、合、リ
ハ、神、堂、修、ミ、リ、全、
ク、在、ル、有、テ、同、合、
セ、リ

開會之由

午前八時起床十時半朝食十一時五十分排便、午後
バ、テ、教、分、間、動、作、アリ、七、日、目、ヤ、リ、残、念
在、外、時、ベ、リ、セ、ハ、ウ、行、フ
全、三、時、武、彦、校、長、武、彦、考、之、父、見、舞、ヲ、余、千、自、己、病、中
ハ、旅、砂、ミ、来、ル
柳瀬原唯、昨日、一、時、飯、田、丸、ヲ、米、国、ヨリ、持、来、
上、信、地、方、数、百、圓、而、テ、利、根、川、江、邊、ニ、現、信、越、ノ、錢
道、皆、不、通、ナ、リ、破、舊、殿、ハ、大、リ、ト、朝、日、報、外、ガ、ワ
在、小、岩、井、米、内、男、澤、夫、人、ノ、近、所、ニ、テ、若、手、山、ニ、此、長、島
ハ、棲、ル、ヲ、知、リ、
ハ、井、野、ヲ、在、資、ノ、坂、北、尾、長、島、若、手、ハ、山、乃
突、ニ、棲、ム、ト、モ
肌、金、ノ、秋、ノ、最、中、ハ、リ、者、ノ、ハ、き、ヤ、者、ノ、ハ、き、ヤ、者、ノ、ハ、き、ヤ、
而、ニ、リ、船、ハ、横、濱、ノ、海、ノ、中、ニ、在、リ、秋、ハ、色、淡、キ、

本日は別荘に在りて午後四時、
既、午、の、時、に、別、荘、に、在、り、て、
既、午、の、時、に、別、荘、に、在、り、て、

2,000
月九國亥乙
日

晴
 三越端華志成茂
 高千仞五時
 妻友クテ茶話会
 多田氏満歳を祝
 廿四
 所
 愈松冷、好天氣トナレリ
 午前八時起床、十時半朝食、十一時半至幸排候
 午市（時バツセリ）行フ
 全三時、金沢文太氏来訪
 全野羊並み成来リテ、壽星ヲ論察ス、次第、好
 食ナリ、余ハ好天氣ニ乗シテ、散策ヲ試シントス、重版
 込ト全衣束之レヲ、吉祥寺驛ニ以リ、車ヲ回ラシテ、五日
 市街前ヨリ、末業、ヤヒ、柳町ヲ直行、飯田橋ヨリ上
 野方面、ヤヒ、全知ヨリ、車ヲカヘテ、湯島、坂ヲ上リテ
 弁天所、宅ノ入り、休憩約四五十分、七時帰莊、別余
 ナレ
 夜分入浴
 正午、母若塚勝子氏来訪、壽星病氣、カ面合セス

(五仁引) 實地海泰

戊申

羊雲
羊雲

午前八時起床十時半朝食十一時半並奉排儀
午後一時（時）ヘリヤルヲ行フ
全斗時半盃及於未於青美次弟ニ具シ
全時北村太志氏未訪今村真樹氏方跡松末并致意アリ
全時小林利助氏并木何便先改善ニ付在書數通
ニ關仰テ取立ぬ未茲接仰トテ與フ
酉辰戌七ハ九三ヶ月來於二十度ハ付スル謝礼トシテ金
五百円ヲ寄鳥ヨリ于延ケレム此去百内ハ牛并又女ナリ
元日看護婦宛又六十必用ハ家計費ノ内ヨリ返濟ヲ得
タリ
主ニ新むき勢乃晒き百々旭然光りを浴びて
他長鳥啼く
本日郵船五下期下半季戦砂六百圓ノ送付ヲ受ケ之
上ヲ吉座ニ取込ム

第○給食にも附に乾物もある 味噌野山子

(八和訳)す元郷に相首た道國會友政 (八五七一一)る生ンソレネ (元和享) / 能長宜居本 (七平天)る贈を佛大良奈 282

晴 雨

時	陰	陽	陰	陽
午前八時				
午前九時				
午前十時				
午前十一時				
午前十二時				
午後一時				
午後二時				
午後三時				
午後四時				
午後五時				
午後六時				
午後七時				
午後八時				
午後九時				
午後十時				
午後十一時				
午後十二時				

午前八時起床十時半朝食十一時半合食午後二時排便
午後一時ハセルヲ行フ
宮下道三郎氏より一日枕頭貸自宅ニテ此ニテ相知
アリ養嗣子昭太氏ニ悔状ヲ出シ香資松岡ヲ贈ル
新田極夫氏夫人死ニテ通知ニ対シ香資松岡ヲ
自宅ニ持参シヤセシム

手紙など付いて感極むる書状なり
山吹水

晴 雨

時	陰	陽	陰	陽
午前八時				
午前九時				
午前十時				
午前十一時				
午前十二時				
午後一時				
午後二時				
午後三時				
午後四時				
午後五時				
午後六時				
午後七時				
午後八時				
午後九時				
午後十時				
午後十一時				
午後十二時				

朝三時起床十時半朝食十一時半合食午後二時排便
午前八時起床十時半朝食十一時半合食午後二時排便
午後一時ハセルヲ行フ
宮下道三郎氏より一日枕頭貸自宅ニテ此ニテ相知
アリ養嗣子昭太氏ニ悔状ヲ出シ香資松岡ヲ贈ル
新田極夫氏夫人死ニテ通知ニ対シ香資松岡ヲ
自宅ニ持参シヤセシム

晴

故女川舞(成吉別式)
吉中大汗寺
治二時一三時
代奉久登(舞)供華

午前八時起床十時半朝食十二時快便
全十時馬木健吉代更舞ノ未訪
午後一時十五分ベリセルヲ行フ
全三時政本正治夫人(お坂)未訪青美面会
午後二時三十分雨落ス
代奉(金)ハ橋安ノ神樂を献いで
おあざき(辰御)のみこー、映ゆるうぶに
の神刀みたる(おきき)やみかる(おきき) (はりたて)
玉垣を新築一で
神垣をあらたきゆひに大あうちと勢力を
いのる大君の代

野の家の行をいふ自筆の
(ツツ)カイトに夕暮を見つ

馬木茂

羊童

国降観光参真会
平四郎熊彦会
銭遊ホナ正午
新

午前八時起床十時半朝食十一時五十分至事快便
午後一時ベリセルヲ行フ
土佐協会顧問ヲ兼諾ス
床田政輔ヨリ奉仕新築内祝トレテ 松花堂昭葉葉
三十六歌仙漫製公怖ヲ贈セル

入田 謙次郎(山崎)に寄る、入田家 傳 城

上明	下明	上明	下明
伏野奔三郎阿士帰朝 歡心会 日比谷山水橋屋軒下 合費木同 新	此疾骨痛ヲ賞ヘ早ク就寝ス夜半ニ一時頃ニ至リ發熱 脇部ニ血ヲ感ス酒井律サノ兩人未リテ看護律サハ 三叶返酒井ハ微雷ノ聲ヲ堪テ又ビアウサルヲ以テ三時 迄看護會合ニ電告今一人ヲ炬カト正午前成込有 テ未タ午ナリ	右二時半迄品分未タ毒天全様流行感有カレ ト云フ發熱三十八分一分夜分七分七分下ル	

上明	下明	上明	下明
晴	晴	晴	晴
舟運三船三十七分五合二頭分三十分三十分齊天朝七 立分夕七、五分下ル 右三時半迄品分未タ 夜名古川島村三リ并天何おし正午迄對、電報アリ 貝舞、電報ヲ又カス	わづみもタとれば人々驚ひ 恐るるをさしてひたひたに鳴る 此處野電		

晴

若松某港休会

午後五時
本休休直送

極田環公吉別支

小石川傳正院所支所

赤井松井内サ送ル

東洋聯合会支所

愛育会理事会支所

新

神々分介報快ナリレヲ以テ午前八時起床入カワミエツ
不快ヲ覚ヘニ三分報微ノ動悸アリ有、枝叶羽食右
亦全様ニ三分向十二時排便、ナク、降レテ已ミテ進下リ
室ヲ決行スレハ葉外、甚痛ナリ治マレリ
右三時頃速夜未成、伴還ニ十七、夜分ニ十七、亦
ニル、葉喉、来レ
審美殆ント全愈

（原）
印

（二）
汽車の轡ひるころ出る花野かな 幽 子

（原）
印

報告の白

報告の白

報告の白

報告の白

報告の白

報告の白

報告の白

本日午後、但赤喉、モ次、カ、コ、ロ、レ
午前一時頃、小倉、心、恒、成、ヨリ、見、舞、ト、テ、子、正、佳、ノ、水、菜、十
を、赤、ヲ、踏、ラ、レ、二、兩、ノ、内、ノ、防、向、ハ、カ、レ、ト、ノ、信、言、ナ、リ、仍、目、下
感、局、手、川、中、次、曲、上、京、ノ、外、ノ、観、度、ト、安、定、ト、テ、年、送、ル
午後三時、上村、金、治、成、夫、村、上、端、支、所、勤、勤、ノ、為、未、訪、候、ナ
知、得、我、方、二、回、分、又、知、ル、為、金、言、ナ、リ、百、六、松、四、門、九、十、六、次
也、小、知、午、ヲ、托、ス
今日、午後、時、早、直、度、成、未、成
武、田、香、雄、成、ミ、リ、同、合、セ、ヤ、リ

（原）
印

好晴

宮内省令より面役
良辰村長勅式
法事

本年に入りテヨリ絶好、秋晴レ気温七十二度、爪サレ
午前八時、床十時、病氣、未レ日、振リ、今、年、十、食
ス、十、時、羊、七、半、排、便
十、時、一、時、頃、壽、美、ミ、存、レ、久、方、テ、因、内、テ、最、末、ス
全、三、時、十、位、女、小、金、正、四、女、来、リ、見、舞、フ、壽、美、面
合、ス
全、四、時、島、村、壽、雄、大、婦、海、法、成、一、女、全、道、正、十、家、葬
洋、一、族、移、ミ、来、レ、正、六、時、正、十、時、上、テ、日、ハ、十、七、日
然、レ、タ、必、古、庄、ミ、我、レ、タ、リ、ト、ウ、テ、モ、ア
壽、美、ハ、右、三、人、ト、一、面、接、ラ、フ、ハ、五、時、羊、先、日、本、家、セ、レ、タ
レ、結、川、母、人、ヲ、右、ス、可、リ、律、サ、帶、四、升、天、可、レ、受、リ、十、時、過
帰、哉、

好晴

好晴

無電行(十)年祝
東京会館台五時
日仏会館台五時

本日、亦、好、天、氣、ナリ、午、前、八、時、起、床、十、時、閉、會、十、一、時、羊、七、半、排、便
若、松、公、港、町、五、百、五、十、五、同、振、込、并、十、月、分、家、計、費、取、十、五、百、円、直、取、方、依、頼、ノ、書、面、上、封、金、送、込、死、ノ、書、面、ヲ、一、枚、付、ス

晴天

新大衆

新

宇治電路会

赤松松送

今日モ亦打候キタル晴天ナリ午前七時半至床十時朝

食十一時半至排便朝食前園内ヲ一周ス

午前十時半至田方太郎夫人来訪

全時松村達太郎氏支村工場贈答件ヲ未訪

全時赤川末七人海津ヨリ来京未訪面会全五時半至田

夫人全道歸来

此朝網庄ヨリ肥前佐志吉橋氏服美(共百五拾円)二葉小

柄(百円)安親甚歡縁頭(百円)赤松松作年縁頭

(三十五円)外に舞二成小柄二巨ヲ送り来ル

晴天

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

赤松松送

曇少雨

全国社会事業大会
を席巻し、
形勢は注し、
及、

午前八時起床、十時開会、十一時至午後排便大量、
食前、園内散歩

午後一時、時々分木、村林、吹、即、女、見、舞、見、工、葡萄、及、柿、
待、

上、村、金、迄、未、在、家、計、算、十五、百、円、ヲ、持、来、ス、其、席、ト、
瀬、原、雄、區、済、金、五、千、九、百、円、ヲ、各、座、ト、
（百、千、五、株）百、五、十、六、円、五、十、五、ヲ、持、来、ス、振、込、亦、ウ、依、頼、

過、日、出、京、シ、ル、新、川、母、人、美、代、子、貝、子、公、伴、来、訪、五、時、
半、辞、云、近、日、帰、国、ト、来、テ、品、日、中、橋、邸、ノ、バ、サ、ー、と、
齊、美、購、入、シ、タ、六、根、屏、風、ノ、人、形、（五、百、円、）ヲ、進、呈、

（池） 舞子と花 舞子と花 舞子と花

晴

お七、四十、回、知、人、大、往、祝、
会、豊、島、園、全、集、大、内、
所、

本日、雷鳴、豪雨、アリ、午後五時、雨止、
午前七時、十、分、起床、十時、開、会、十一時、十五、分、至、
良、便、アリ、

梅、瀬、床、唯、一、通、済、金、受、取、手、銭、ヲ、出、ス、
及、神、島、電、車、十六、回、配、当、金、九、百、株、分、金、十、五、百、円、
也、却、我、会、社、別、口、持、当、振、込、亦、上、村、女、依、頼、ス、
而、亦、市、相、区、中、須、美、町、依、代、女、原、（即、女、及、中、山、堂、太、
郎、而、女、宛、加、送、公、会、堂、建、立、資、金、亦、十、千、円、ノ、事、ハ、責、任、

以上、三、通、ハ、ハ、庭、掃、花、ノ、便、ハ、此、ス、
其、方、リ、多、ク、
親、と、子、ハ、心、を、キ、ナ、キ、ト、モ、少、シ、コ、ト、以、テ、以、テ、切、リ、切、リ、
初、半、十、時、正、六、十、代、子、セ、ト、助、文、カ、ト、共、ト、来、在、会、等、
而、人、病、氣、ヲ、来、シ、テ、来、有、シ、タ、リ、正、六、ハ、前、脱、小、腹、一、泊、
十、代、子、等、ノ、聲、ヲ、来、ル、ト、会、合、（会、部、）ニ、シ、テ、其、子、愛、ヲ、示、フ、

其、方、リ、多、ク、

親、と、子、ハ、心、を、キ、ナ、キ、ト、モ、少、シ、コ、ト、以、テ、以、テ、切、リ、切、リ、
初、半、十、時、正、六、十、代、子、セ、ト、助、文、カ、ト、共、ト、来、在、会、等、
而、人、病、氣、ヲ、来、シ、テ、来、有、シ、タ、リ、正、六、ハ、前、脱、小、腹、一、泊、
十、代、子、等、ノ、聲、ヲ、来、ル、ト、会、合、（会、部、）ニ、シ、テ、其、子、愛、ヲ、示、フ、

初、半、十、時、正、六、十、代、子、セ、ト、助、文、カ、ト、共、ト、来、在、会、等、
而、人、病、氣、ヲ、来、シ、テ、来、有、シ、タ、リ、正、六、ハ、前、脱、小、腹、一、泊、
十、代、子、等、ノ、聲、ヲ、来、ル、ト、会、合、（会、部、）ニ、シ、テ、其、子、愛、ヲ、示、フ、

皆晴

土岐氏縁金所苦
自知一筆并
海内及赤坂子贈し

雲ナリ風ナリ絶好、秋日和ナリ
午前七時半起床十時朝食十二時快通至金豆友
修文々々園内外ヲ散歩ス
午後五時所用理髪店主人ヲ招キ散髪
九時迄若成男英彦三度南幸、秋夜ナリ、件
々廿夜若成書面ヲ南幸(取拂改早川茂三氏ナ
汗、廻ス

辰巳

(辰巳) 題しまひ筆勢しまへば筆落る

皆晴

日本文化協会ニ参リ
ラフに付キ

本日モ亦先日同様、好天気ナリ
午前八時半起床九時朝食十時半快便リ本日
モ亦朝夕兩度近郊ヲ散歩ス
故郷田大橋傳記纂集編会、金斗拾内(郵送)ヲ寄
贈ス
重工業会社模倣振振木会社併合登記、要スル件
件状并、印鑑、捺印之ヲ会社ヨリ、使系保及成
ノ渡ス

水色の鎌倉山の秋の夕に
朝光やりの夕のきざし
似謝野忌子

日出	六時四十七分	月出	初十時三十分
日沒	四時四十七分	月沒	後八時十五分

白晴
暖寒

開成會談會主在立門
上早精義軒
新
三月通相歡會

本日ニ亦明訓ニ秋日初より午前十時半迄床に就
き朝食十一時半中便下リ午後
三時高車ノ幸川邊ニ行キ丸谷菜畦銚衡ノ傍
不合格ナル品通知アリ候テ其書面ヲ全封シ父位
治代ニ其旨申送ル
午前十時半在學校就食可別社長ノ御方訪ニ就
問、族妙ヲ述べ素美キ製ノアメキヨコ及牛作ノ小茶
ヲ夫人ニ贈呈シテ禱去也、端ヨリ上野公園内ヲ遍遊
并天可、御ニ具テリ物一時雨休息六時還歸莊
雨宇中永井柳太市郎氏ヨリ電話内合セリ

就の湯の湯槽のふちにうなじ懸せ
ゆるく怠する物思ひかな
石川啄木

上弦 四日
下弦 十八日
滿月 十日
新月 廿六日



十一月
霜月・神無月
雪待月

椅子駕に七湯を廻る
紅葉哉 吳舟
立冬 八日 (後五時十八分)
小雪 廿三日 (後二時三十六分)

[illegible]

山（一） 關（二） 落（三） 炎（四） 白（五） 煙（六） 朝（七） 日（八） が華（九） かに燃（十） れる。山の手の道は、東京の戀しに類な
る。遠山の景色は、今と昔、同じく變りて一番だ。わづか、雪に覆やうとするところ、獨立つて一段高そびえ上
がらぬ大木が、相合ふ山々の深淵のうちに起伏するところ、獨立つて一段高そびえ上
げた奇麗銀色に輝く富士の姿、それと映る。山はみな、美し関る。遠く霧むカイイ
美さ、輪廓の線のないやみかさ、帝都をめぐる山々は、今と昔、静かな冬歌に入るのである。

1885-1890

季寄時合 初霜、初時雨、火桶、落葉、初冬、冬の月、

[illegible]

紅葉の旅

東國の近頃は、日本各地に紅葉を賞する者ありて、既に十月には、日光・鎌倉・妙高山・長野、奥多摩、早稲田等へ登山遊。願ひは、高麗山脈の三岳の紅葉、芝田川、新羅峯、高野山、御野嶽、雪嶺、通天嶽、など入つ。口頭にも實際にも秋の趣、高野山の野嶽、雪嶺、通天嶽、など入つ。口頭にも實際にも

趣味

雪嶺の茶室。詩歌の題作り。結年植物に肥料を施し、果樹の剪定を行ふ。茶木、柑桔、種類、種類と種類の設備なし、ちぎ、人参等を配置す。ふな、はぜ、は、わかき草約り。

郵船重役金右斗	新	朝鮮總督金斗	新	松井宗茂露子垣	新	漢智集口	新	末不金館金斗	新
午前八時起床九時半合朝食十時半合朝食十一時半合朝食十二時半合朝食		午後一時起床二時半合朝食三時半合朝食四時半合朝食五時半合朝食		午後六時起床七時半合朝食八時半合朝食九時半合朝食十時半合朝食		午後十一時起床十二時半合朝食		午後一時起床二時半合朝食三時半合朝食四時半合朝食五時半合朝食	
臥夜氣後復肩より寒サヲ感シ室下衣具ノ結果ハ脚		カ頭ノ重キヲ覺シ其然今朝駭入ルモ鮮温寒快ナリ		恥博モテテテカラス		午後三時半起床六時半起床七時半起床八時半起床九時半起床		午後十一時起床十二時半起床	
夕六時半無天未レ大和泊具中救直右死去ノ旨宣		三節ヨリ報テトノ活ナリ		吉祥等別郎お安養補家工奉賛トシテ金計百五		應ラズス(外ハ人夫賛前月分名出於四余アリ)			

量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
午前八時起床九時半合朝食十時半合朝食十一時半合朝食十二時半合朝食		午後一時起床二時半合朝食三時半合朝食四時半合朝食五時半合朝食		午後六時起床七時半合朝食八時半合朝食九時半合朝食十時半合朝食		午後十一時起床十二時半起床		午後一時起床二時半起床三時半起床四時半起床五時半起床	
午前八時起床九時半起床十時半起床十一時半起床十二時半起床		午後一時起床二時半起床三時半起床四時半起床五時半起床		午後六時起床七時半起床八時半起床九時半起床十時半起床		午後十一時起床十二時半起床		午後一時起床二時半起床三時半起床四時半起床五時半起床	
午後六時起床七時半起床八時半起床九時半起床十時半起床		午後十一時起床十二時半起床		午後一時起床二時半起床三時半起床四時半起床五時半起床		午後六時起床七時半起床八時半起床九時半起床十時半起床		午後十一時起床十二時半起床	

晴天

八日合

新米、新米、新米

新米、新米、新米

新米、新米、新米

新米、新米、新米

新米、新米、新米

新米、新米、新米

新米、新米、新米

（五）

本日モ亦好キ天気ナリ午前十時羊乳床九時羊乳食

羊排便登多カラス至方一様

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

午前十時羊乳床九時羊乳食

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

（五）

晴曇	雨	雪	風
茶瀬軒一節五郎 小池幸三助妹有代結婚披露	来會合飯午後六時 うい新	小池辰物館 九向午餐會新	市子十子園普末 其十校（并校）午後六時 市子十子校四
朝七時半令和床九時半朝食十時四十分午餐排便 午右寺時中島田園次女と表親、梅状ヲ送メ香賀 武松岡ヲ宿ノ御里ニ送ル 公三時喰松村老太郎未訪夫村工場資金金本月分 き方八十圓返納ヤリトダリ公明後日ヨリ京都并ノ 里ニ出張ノ途 夕刻五時後婦ヲ伴テ伯一哩郊外ヨリ飯菜ス夕映ノ富 士ヲ視ル 此日口茶の水ヲアテテ光景 足柄や山根の山を足下ニ一雲雨ニ高キ 富士乃白ク 本日吉祥寺ニ参リて富士 夕方ハ高木林方山ニ入日ニヤ 富士ハ高キ	小倉目のひびくやれとふに思ひ出で 宛の鶴などおきとにけり 竹木 鶴男		

（八和城）もろや行徳院の下の飯田宮前 （五治時）寺に就て服満大 二奉治）く候を令并三兵平

晴	曇	雨	雪	風
皆晴				
大妻清朗ナレハガシリ風寒シ午前七時五十分和床				
九時半朝食十時半午餐排便				
高知市石立八幡宮女下代林康吉女ヨリ自分				
奉納ノ神興并ノ行列道具（三京都西幸創製作）取				
ヨリ店員介添テ到リ看組立ラレテ神庫（新築）				
納メタルに并々本年は神幸ノ盛年ナリト一般相衆				
店員等報告アリ				
午右三時の藤茶子公未訪新川公介相談ノ件ノ用ス三				
分新リ置ラテテト長々ス公時服即其次即女ノ				
件モ法ニ着リ五時半終				
橋幸周世代父海州前明石市忠度所ノ自邸ニ近				
去希末日新タナリ不電ヲ送レ供華ノ件ハ友茶				
子成ヨリ介テ神戶高幸支店ニ依頼ス				

（五八一）も生ソシグニス （元保親）す亡派嘉録の嘉義田和

晴天

日付
時刻
月日
時刻

午は至内現役入寮者
歓迎迎会送会堂
午後一時
所

多量高リ七十度ニ上ル朝七時半起床九時半朝食
十時五十分無事排便

昨夜ノ雨ニテ桐樹紅ヲ加ヘ庭内ニ美観云フバサリナシ
午台當時羊青木美雄夫人婦時下夫人ト共ニ来訪
公世時羊御至翌夫人成漢學園父交會ノ綿金紡織
夜介来訪及岡次ノ桐々木高綱ラガオヲダク

萬ヤナ振モ雨ノ色ヤ一ノ庭ヲ如葉乃錦ナリ

西暦
日付
時刻
月日
時刻

各表
日付
時刻
月日
時刻

西暦	日付	時刻	月日	時刻

西暦
日付
時刻
月日
時刻

各表
日付
時刻
月日
時刻

昨夜ミリ雨午台ニ至リテ止ミタルニ日光ヲ見ス
午前八時起床九時半朝食十一時排便多量
午台當時青木ト共ニ其樂俱樂部ニ至キ井上侯旧
藏ノ鐔四十点外若干点致シ対シ入ルヲナシ婦送
知川ト共ニ主齊リ失連天候ノ貝舞ニ見タルニ対シ
侯移ヲ大ニ四時半全家ヲ辞シ井上侯ノ宅ニ至リ
侯知改良ノ工事ヲ視六時半婦在

月
乙巳

日五十二月一十

乙亥年四月十日

[illegible]

〔冬木立〕
障子しめて冬木の影をたのしみぬ 梨 冷

341 (八和唱)む定と技國をし球蹴門國洲滿 (七三八一)る生一ギネーカ (三保長)す類を服美の女官御公

乙亥年十月十九日

日四十二月一十

服日
疑耳

[illegible]

富み足らひぬ大けき人の名に見れば
吾と同じき名の人のあり

高島直一郎

〈八咫鏡〉 宇治製鐵所製鉛ダークリット野 (四保雄) おしせ造雄を船大に藤和謙人宋智寛

月一十閏亥乙
日 二

卷之六

〔夏目〕 夏目の梅干かす簀を聞く 大 島

(六正天)むねを蟻月上磨播吉秀

月一十回亥乙
日

月新●
分六十三時一十的

火 丙午

[illegible]

忠貞顯彰會之姻族會及義塾式大阪中島中央公會堂于前十日

月の夜の北見釧路の國境
 體え行く汽車のあえぎきこゆる
 相良義重

〈元壽久〉ろは尊を宣てし座に罪の朝野觀爲

344

[illegible]

(八和昭) 和書の期毎に讀む徳愛陸海軍五一・五 (四和昭) 英銀行一國全聯會軍海シム・ロ 34

月一十閏亥乙
日 丑

大雪	八日	(前九時四十五分)
冬至	廿三日	(前三時三十七分)

春得月



上弦	三日	下弦	十八日
滿月	十日	新月	廿六日

七 曜						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.

行連

[illegible]

初學、
枯野、

季寄 時令 初雪、秋雪、冬枯、冬立、冬入、水鳥、氷魚、枯野、冬木、冬の田舎、水溜り、餅粥、煤煙、水臭、氷除雪。花西、早梅、南天、薔薇、萬葉、水仙、菊、寒牡丹、聖朝草、蘭空翠。(餘缺は以下リビで、カネエトシシ、ブリム)、百合、オウゴンマツダ、食品、樹、むつ、種籾、種籾、牛乳、吉貝、島貝、貝の紅、鴨、宗鷺、雁、山鳥。運轉、藏、ぶら、長巻。

樂

[illegible]

[illegible][illegible]

日 大 雪 日 二 月 十 八 日
 戊 午 分 五 十 四 時 九 刻

月一十閏亥乙
日 三 十

[illegible]

355

(八和昭) 黨說會友政右洋岡松

(元泊明) (告に磨大勢伊を定平北東

月一十閏亥乙
日七 月二 十

巳丁

手紙の裏面に描かれていた花の図は、
山茶花の一種である。

手洗ひの湯を捨てて目を久し
山茶花の下にいまだのこれる

塚田光夫

(七一治明)す定制を令給羅吏官 (〇一政文)る生洲南極西 (元治水)位蹟皇天施賜

354

以下未記入省略

